

平成30年 第9回

戸田市教育委員会定例会

平成30年8月22日（水）午前9時30分

戸田市役所3階教育委員室

戸田市教育委員会

第9回教育委員会（定例会）次第

1 開会

2 前回の会議録の承認

3 教育委員提案について 別添 資料No.1のとおり

4 報告事項 別添 資料No.2のとおり

5 議事

ページ

(1) 議案

議案第18号 平成31年度使用小学校用教科用図書（各教科）及び中学校用教科用
図書（道徳科）の採択について……………当日配付

議案第19号 夏季休業後の戸田市立小・中学校熱中症予防方針（案）について……………1

6 その他

(1) 次回の教育委員会の日程（案）

平成30年9月27日（木）午前9時30分～

(2) その他

7 閉 会

平成31年度使用埼玉県第四探択地区小学校用教科用図書（道徳を除く）選定と理由

種目	○書名 ○発行者	選定理由
国語	○国語 ○光村図書出版	学年間の系統性が重視されており、全ての学年が同時期に同じ領域を学習するようになっている。また、古典を中心とした読み聞かせや音読が、各学年に設定されており、日本の伝統や文化の取り扱いが充実している。
書写	○書写 ○光村図書出版	字形を整えて書くためにはどのようにしたらよいかを児童に考えさせることができる工夫など、課題解決型の学習を取り入れているため、児童の思考力を高めるのに適している。また、国語の学習と時期を合わせた題材が多いため、関連付けた指導がしやすい。
社会	○新編 新しい社会 ○東京書籍	各学年のはじめの単元で問題解決的な学習の進め方が示されており、児童が主体的に学習に取り組めるようになっている。「まなび方コーナー」で地図やグラフ等の資料の読み取り方など、学習の技能が身に付けられるようになっている。
地図	○楽しく学ぶ小学生の地図帳 ○帝国書院	地図帳の約束事、地図帳の使い方が巻頭にあり、児童の実態に応じた調べ方の指導ができるようになっている。基本図や地域地図のページには写真やイラスト、用語の説明などの資料を配置し、多面的・多角的な見方ができるようになっている。
算数	○新編 新しい算数 ○東京書籍	学年間の系統性や既習事項を生かして学習することに配慮されている。また、保護者や児童向けに教科書の使い方が記述されており、家庭との連携も配慮されている。
理科	○新版 楽しい理科 ○大日本図書	実生活との関連から始まり、問題解決を経て、最後が実生活に戻るという流れで構成されており、理科を学ぶ有用性が感じられるよう配慮されている。次の学年や中学校とのつながりを意識した、「りかのたまてばこ」や「ジャンプ」などの発展的な資料が充実している。

種 目	○書名 ○発行者	選定理由
生活	○新編 新しい生活 ○東京書籍	入学当初の指導に適したスタートカリキュラム（「すたあとぶっく」）を設け、小学校教育と幼児教育の接続に配慮されている。また、「ポケットずかん」や「べんりてちょう」があり、児童の気付きの質を高める資料が充実している。
音楽	○小学生の音楽 ○教育芸術社	児童がめあてを意識し、見通しをもって学習に取り組めるような単元構成になっている。学習内容と楽曲数が精選されている。音の高低・長短などが図で表され、児童が楽曲のイメージをつかみやすくなっている。
図 画 工 作	○図画工作 ○開隆堂出版	巻末に「パレットコーナー」、「工具箱」が設けられており、各学年で取り扱う材料や用具等がわかりやすく記述されている。また、作品や写真を大きく掲載し、児童の発想や構想の手がかりになるように工夫されている。
家 庭	○わたしたちの家庭科 ○開隆堂出版	基礎的・基本的な知識や技能の確実な習得のために、簡単なものから繰り返し積み上げて学習する構成になっている。実習の手順がわかりやすい写真で細かく示され、児童がそれぞれの家庭においても教科書を見て実践しやすいよう工夫されている。
保 健	○新・みんなの保健 ○学研教育みらい	1時間2ページで、学習課題の明示、学習活動、まとめ、活用という基本構成で課題解決的な学習が進めやすくなっている。A4判に資料が豊富に示され、大切なことが分かりやすく構成されている。

平成31年度使用埼玉県第四採択地区中学校用教科用図書（道徳科）選定と理由

種目	○書名 ○発行者	選定理由
道徳	○輝け 未来 中学生 道徳 ○学校図書	「考え、議論する道徳」という視点から、「学びに向かうために」において、多面的・多角的に考えさせる問いを順序立てて設定し、生徒の思考・意見の交流を促すように工夫されている。22の内容項目毎に、「心の扉」を設け、道徳的価値と自己との関わりを問い直すことで、考えを深められるような手立てになっている。

熱中症予防に係る小・中学校の活動方針について（案）

平成30年8月 日
戸田市教育委員会

児童生徒等の熱中症事故の防止のため、戸田市立小・中学校における活動方針について、以下のとおり定める。

1. 活動禁止時間帯について

- (1) 「戸田市気象情報」(注)において気温が35度以上となる時間帯は、屋外活動(体育館等の冷房が効いていない場所での活動を含む。)を行わない。ただし、屋外の移動時間が少ない校外学習等については、十分に注意してこれを行うことができるが、移動先では当該時間帯に屋外活動を行わない。
- (2) 気温が35度未満となる場合であっても、湿度が高い場合や日差しが強い場合には、活動内容を変更する等十分な対策を行う。
- (3) 活動前及び活動中においては気温等の気候条件に十分に注意を払い、特に気温が35度以上となった場合等には直ちに活動を中止し、屋内の冷房の効いている部屋に早めに移動する等の適切な対応をとる。

2. 運動会や体育祭、部活動の試合等について

- (1) 部活動の練習試合は上記1.と同様の扱いとし、気温が35度以上の時間帯にはこれを行わない。
- (2) 運動会や体育祭、部活動の公式試合等については、やむを得ずにこれを実施する場合でも、開催時間の短縮やプログラムの変更、こまめな休憩の確保、休憩時間用の冷房の効いた部屋の準備などの十分な配慮を行う。また、別に主催者がある場合にはこれらの事項を主催者側に確認し、必要に応じて要請する。

3. 熱中症対策に関する知識の啓発等について

- (1) すべての学校管理職及び屋外活動に関わる教職員は、「熱中症を予防しよう—知って防ごう熱中症—」(独立行政法人日本スポーツ振興センター)を熟読の上、熱中症予防や熱中症が発生した場合の適切な対応等について必要な知識を十分に身に付ける。さらに、学校管理職は「熱中症予防ガイドブック」(公益財団法人日本スポーツ協会)を読んだ上で必要に応じて教職員に指導を行う。
- (2) その他、本市教育委員会からの「熱中症事故の防止について(通知)」(平成30年7月18日教育長通知)における留意点等も参考としながら、熱中症に十分に注意をして活動を行い、熱中症事故が危惧される状況等においては勇気を持って直ちに活動を中止することを常に心がける。

(注)「戸田市気象情報」:一般財団法人日本気象協会が提供する情報による戸田市の気象情報ウェブサイト(<http://www.micosfit.jp/toda-city/>)のうち「JWAポイント予測」を参照する。

附 則

本方針は、平成30年8月27日から適用する。

教育委員提案について

平成30年第9回教育委員会(定例会)

平成30年8月22日(水)

戸田市役所3階 教育委員室

1 教育委員提案について

ページ

- ① 視察の受入状況について（吉田委員） 1
（教育総務課）
- ② セサミストーリーカリキュラムについて（土肥委員） 当日配付
（教育政策室）
- ③ 学力・学習状況調査結果の分析・活用と授業改善モデルについて（土肥委員） 9
（教育政策室）

視察の受入状況について(平成29年度:戸田市教育委員会事務局)

No	日付	来訪者	人数	視察内容
1	6/22	Googleアジア太平洋地域統括官クワ氏 他	-	授業視察(市内小学校)
2	6/22	秋田県大仙市議会	-	郷土博物館施設見学
3	7/3	OECD教育スキル局長シュライヒャー氏 他	-	授業視察(市内小学校)
4	7/4	総務省情報通信利用促進課	-	プログラミング教育について
5	7/18	経済産業省教育プロジェクトチーム	-	授業視察(市内小学校)
6	7/21	江戸川区議会	-	彩湖自然学習センター施設見学(国交省関係)
7	7/25	国土交通副大臣	-	彩湖周辺視察(国交省関係)
8	8/2	川島町教育委員会	-	彩湖自然学習センター施設見学
9	8/3	吉川市教育委員会	-	いじめ対応訓練について
10	8/3	島根県教育庁・島根県隠岐郡海士町	-	産官学民との連携について 埼玉県学力・学習状況調査について
11	8/9	福島県郡山市教育委員会	-	産官学民との連携について 埼玉県学力・学習状況調査について
12	8/29	国交省荒川上流河川事務所・太田衆議院議員	-	彩湖自然学習センター施設見学(国交省関係)
13	8/31	広島県福山市教育委員会	-	産官学民との連携について 埼玉県学力・学習状況調査について
14	10/10	文部科学省生涯学習政策局長	-	ICT教育について(市内小学校)
15	10/16	茨城県大子町	-	タブレットPCの導入と活用について
16	10/17	愛知県江南市議会	-	産官学民との連携について
17	10/18	兵庫県西宮市議会	-	産官学民との先進的な連携について
18	10/31	入間北部教育委員会連合会	-	授業視察(市内小学校)
19	10/31	川島町教育委員会	-	授業視察(市内小学校)
20	11/1	福岡県久留米市議会	-	ICT教育について 英語教育について

No	日付	来訪者	人数	視察内容
21	11/7	埼玉県教育委員会教育長	-	授業視察(市内中学校)
22	11/15	福島県郡山市教育委員会	-	教育委員会制度改革について プログラミング教育について リーディングスキルについて
23	11/20	奈良県橿原市議会	-	ICT教育について
24	12/22	福島県西会津町教育委員会	-	産官学民との連携について
25	1/12	愛媛県西条市教育委員会	-	戸田市の学校教育の取組について
26	1/30	教育再生実行会議	-	
合計			-	

来訪者別	件数
市町村教育委員会	9件
国	6件
議会	6件
その他	3件
県教育委員会	2件
市町村	2件
合計(のべ)	28件

視察内容別	件数
授業視察	6件
産官学民との連携について	6件
彩湖関係	4件
ICT関係	4件
学力・学習状況調査について	3件
プログラミング教育について	2件
学校教育全般	1件
教育委員会制度改革について	1件
英語教育について	1件
いじめ対応について	1件
リーディングスキルについて	1件
博物館関係	1件
合計(のべ)	31件

視察の受入状況について(平成30年度:戸田市教育委員会事務局)

No	日付 (予定含む)	来訪者	人数 (予定含む)	視察内容
1	4/19	世田谷区議会	5名	Musioを活用した英語教育について(市内中学校)
2	5/11	東京都教育委員会	3名	リーディングスキルテストについて
3	5/14	滋賀県草津市教育委員会	2名	ICT教育について
4	5/17	千葉市教育センター	1名	リーディングスキルテストについて(市内小学校)
5	5/22	新潟県教育委員会	4名	リーディングスキルテストについて ICT機器の導入と効果的活用について 英語教育について 教育政策室の機能・体制について エビデンスに基づく授業及び教員研修の改善 学習機会の確保と学習支援の取組状況
6	6/13	茨城県教育委員会	2名	アクティブ・ラーニング ルーブリックについて エビデンスベースの教育政策について
7	7/3	香川県三豊市議会	8名	教育のICT活用について(市内小学校)
8	7/5	宮崎県宮崎市教育委員会	2名	リーディングスキルテストについて
9	7/10	千葉県白井市議会	4名	戸田市の教育について
10	7/12	宮城県利府町議会	7名	ICT教育について
11	7/12	日高市立教育センター	1名	コミュニティ・スクールの全校一斉導入について
12	7/13	佐賀県教育委員会	1名	リーディングスキルテストについて
13	7/18	長崎県教育委員会	2名	リーディングスキルテストについて
14	7/19	さいたま市教育委員会・日高市立教育センター	3名	戸田市のコミュニティ・スクール研修について
15	7/24	愛知県一宮市議会	12名	産官学民と連携した教育改革について
16	7/25	沖縄県糸満市議会	8名	ICT教育について
17	7/31	上田市教育委員会・上田市立小・中学校	8名	戸田市のプログラミング教員研修について
18	8/6	奈良県奈良市教育委員会	3名	リーディングスキルテストについて
19	8/22	宮崎県教育委員会	3名	リーディングスキルテストについて

No	日付 (予定含む)	来訪者	人数 (予定含む)	視察内容
20	9/11	栃木県那須町教育委員会	4名	リーディングスキルテストについて
21	9/20	秋田県教育委員会	4名	授業の検証・評価について(市内小学校) (ルーブリック・ALの6つのポイントなど)
22	9/20	北海道勇払郡占冠村立占冠中央小学校・トナム学校	2名	戸田市におけるICT教育の現状及び指導方法について
23	10/17	愛知県小牧市教育委員会	6名	ICT教育について(環境整備・プログラミング教育)
24	10/31	岐阜県大垣市議会	6名	ICT教育について(PEERプログラム)
25	11/12	大阪府枚方市議会	12名	戸田市の教育について
26	11/15	山形県酒田市教育委員会	7名	産官学民連携による先進的な取組について
合計			120名	

来訪者別	件数
市町村教育委員会	10件
議会	8件
県教育委員会	7件
小・中学校	2件
国	0件
その他	0件
市町村	0件
合計(のべ)	27件

視察内容別	件数
リーディングスキルについて	9件
ICT関係	8件
授業視察	3件
産官学民との連携について	2件
EBPMについて	2件
ALルーブリックについて	2件
戸田市の教育について	2件
英語教育について	2件
コミュニティ・スクールについて	2件
プログラミング教育について	2件
PEERプログラムについて	1件
教育政策室の体制について	1件
学習支援について	1件
合計(のべ)	37件

視察の受入状況について(平成29年度:戸田市立小・中学校)

No	学校名	日付	来訪者	人数	視察内容	授業見学
1	芦原小	4/18	東京電機大学未来建築学部建築学科講師・学生	60名	オープンスペースの学校建築について	無
2	戸二小	4/25	栃木県足利市立毛野小学校	1名	戸二小の研究について	有
3	戸二小	6/20	Googleアジア太平洋地域統括官クワ氏 他	3名	ICT教育について	有
4	戸二小	7/3	OECD教育スキル局長シュライヒャー氏 他	14名	戸田市の教育について	有
5	戸二小	7/18	経済産業省	8名	「未来の教室」とEdTech研究会について	有
6	戸二小	9/19	埼玉大学二宮裕之教授	2名	学習者用デジタル教科書研究について	有
7	笹目小	10月	内閣府・大学講師	3名	ユニバーサルデザインについて	有
8	戸二小	10/10	文部科学省初等中等教育局 他	11名	新しい学びについて	有
9	戸二小	10/11	新潟県新潟市燕市立分水小学校	1名	ICT教育について	有
10	笹目東小	10/16	茨城県久慈郡大子町教育委員会	8名	ICTを活用した学習指導について	有
11	戸二小	10/19	栃木県足利市立山辺中学校	3名	戸二小の研究について	有
12	戸二小	10/20	埼玉県熊谷市教育委員会 他	8名	ICT教育について	有
13	戸二小	10/20	栃木県足利市立山辺中学校	3名	ICT教育について	有
14	戸二小	10/31	埼玉県川島町教育委員会	8名	新しい学び(PEER)について	有
15	戸二小	10/31	埼玉県入間・北部地区教育委員会連合会	27名	新しい学び(PEER)について	有
16	笹目中	11/1	福岡県久留米市議会	10名	ICT教育について	有
17	笹目中	11/1	新潟県燕市立吉田中学校	1名	協調学習について	有
18	笹目中	11/7	埼玉県教育局	8名	学校教育について	有
19	戸二小	11/15	福島県郡山市教育委員会	7名	新しい学び(PEER)について	有
20	戸二小	11/15	代々木ゼミナール	2名	リーディング・スキルについて	有
21	笹目東小	11/27	インテル株式会社	3名	日本の授業について	有

No	学校名	日付	来訪者	人数	視察内容	授業見学
22	芦原小	12/27	韓国の建築事務所	5名	オープンスペースの学校建築について	無
23	笹目中	1/24	東京都新宿区立牛込中学校	5名	ミライシードについて	有
24	戸二小	2/15	放送大学中川一史教授 他	3名	プログラミング教育について	有
25	笹目中	2/16	石川県輪島市立輪島中学校	1名	アクティブ・ラーニングについて	有
26	戸田中	2/16	石川県輪島市立輪島中学校	1名	ICT教育・理科授業について	有
27	戸二小	2/28	秋田県秋田市立川辺中学校	1名	戸二小の研究について	有
合計				198名		

学校別	件数
戸二小	16件
笹目中	5件
芦原小	2件
笹目東小	2件
笹目小	1件
戸田中	1件
合計	27件

来訪者別	件数
小・中学校	9件
市町村教育委員会	5件
国	3件
企業	3件
大学	3件
その他	2件
県教育委員会	1件
議会	1件
校長会	0件
市町村	0件
合計	27件

視察内容別	件数
ICT教育について	7件
新しい学びについて	4件
戸二小の研究について	3件
オープンスペースの学校建築について	2件
戸田市の教育について	2件
協調学習について	1件
ミライシードについて	1件
アクティブ・ラーニングについて	1件
日本の授業について	1件
ユニバーサルデザインについて	1件
リーディング・スキルについて	1件
プログラミング教育について	1件
「未来の教室」とEdTech研究会について	1件
学習者用デジタル教科書研究について	1件
合計	27件

視察の受入状況について(平成30年度:戸田市立小・中学校)

No	学校名	日付 (予定含む)	来訪者	人数 (予定含む)	視察内容	授業見学
1	芦原小	4/17	東京電機大学未来建築学部建築学科講師・学生	60名	オープンスペースの学校建築について	無
2	戸田東中	4/19	東京都世田谷区議会	6名	Musiolについて	有
3	笹目小	5/17	千葉県千葉市教育センター	1名	リーディング・スキルについて	無
4	戸田東中	5/22	新潟県教育局	3名	ICT教育について	有
5	戸二小	5/22	新潟県教育局	4名	新しい学び(PEER)について	有
6	新曽小	5/28	文科省初等中等教育局国際教育課・カリフォルニア大学学術上院議長	4名	英語授業について	有
7	新曽小	6/8	セサミリサーチチーム(セサミワークショップ・早稲田大学教授・フューチャーインスティテュート 他)	12名	セサミストリートカリキュラムについて	有
8	新曽小	6/12	セサミリサーチチーム(セサミワークショップ・早稲田大学教授・フューチャーインスティテュート 他)	8名	セサミストリートカリキュラムについて	有
9	戸二小	6/12	栃木県足利市立山辺中学校	4名	新しい学び(PEER)について	有
10	戸二小	6/12	新潟県燕市立吉田北小学校	1名	戸二小の研究について	有
11	芦原小	6/15	岡山県真庭市立遷喬小学校長	1名	オープンスペースを活用した教育について (ICT教育・コミュニティ・スクールの取組)	有
12	戸二小	6/21	栃木県足利市立山辺中学校	4名	新しい学び(PEER)について	有
13	戸二小	6/28	福島県西会津町	4名	新しい学び(PEER)について	有
14	戸二小	6/28	韓国 全羅北道教育研究情報院	10名	英語教育について	有
15	戸二小	6/29	埼玉県蕨市情報教育部	17名	プログラミング教育について	有
16	戸一小	7/3	香川県三豊市議会教育民生常任委員会	8名	ICT教育について	有
17	戸二小	7/5	栃木県足利市校長会	4名	戸二小の研究について	有

No	学校名	日付 (予定含む)	来訪者	人数 (予定含む)	視察内容	授業見学
18	笹目小	7/10	埼玉県久喜市立青毛小学校	2名	ユニバーサルデザインについて	有
19	笹目小	7/10	埼玉県川口市立神根小学校	2名	ユニバーサルデザインについて	有
20	戸一小	7/17	フューチャーインスティテュート・ポプラ社	5名	考え議論する道徳について	有
21	戸二小	8/24	東京都文京区小学校長会	5名	新しい学びについて	有
22	戸二小	9/10	栃木県足利市立山辺中学校	5名	戸二小の研究について	有
23	戸二小	10/15	栃木県足利市立山辺中学校	5名	戸二小の研究について	有
合計				115名		

学校別	件数
戸二小	11件
笹目小	3件
新曾小	3件
芦原小	2件
戸一小	2件
戸田東中	2件
合計	23件

来訪者別	件数
小・中学校	8件
その他	3件
県教育委員会	2件
議会	2件
校長会	2件
市町村	2件
市町村教育委員会	1件
国	1件
企業	1件
大学	1件
合計	23件

視察内容別	件数
新しい学びについて	5件
戸二小の研究について	4件
英語教育について	3件
ICT教育について	2件
オープンスペースの学校建築について	1件
オープンスペースを活用した教育について	1件
セサミストリートカリキュラムについて	2件
ユニバーサルデザインについて	2件
考え議論する道徳について	1件
リーディング・スキルについて	1件
プログラミング教育について	1件
合計	23件



戸田市版 セサミストリート カリキュラム



戸田市教育委員会



戸田市版セサミストリートカリキュラム

人工知能（AI）が様々な職業を代替していく時代に向けて

様々な変化に積極的に向き合い、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら
新たな価値を創造する力の育成が必要



戸田市教育委員会



セサミワークショップ

セサミワークショップは世界150以上の国々において、「セサミストリート」を提供している米国NPO法人。メディアがもつ教育的な力を活用して、世界中の子供たちが「かしこく」「たくましく」そして「やさしく」育つことを支援することをミッションとしている。



< 戸田市版セサミストリートカリキュラムを通して >

- ・ 夢をえがき、計画を立て、行動する力の育成
- ・ みんなで考える力の育成
- ・ 多様性を理解する力の育成

目標と選択

- ・ 夢をえがく
- ・ 目標をたてる

方法と手段

- ・ 計画をたてる
- ・ 行動する
- ・ 問題を解決する
- ・ コラボレーション

価値の理解

- ・ お金の価値
- ・ 物事の価値
- ・ 人の価値観

多様性と

インクルージョン

- ・ 社会的スキル
- ・ 多様性の理解
- ・ インクルージョンの
実現

戸田市版セサミストリートカリキュラム

「目標」と「選択」・6年生 ～夢をえがき、計画を立て、行動する～

SESAME STREET

夢をえがき 計画をたて 行動する

みんなが考ええるアイデアコンクール・エンパワーメント

sponsored by MetLife Foundation

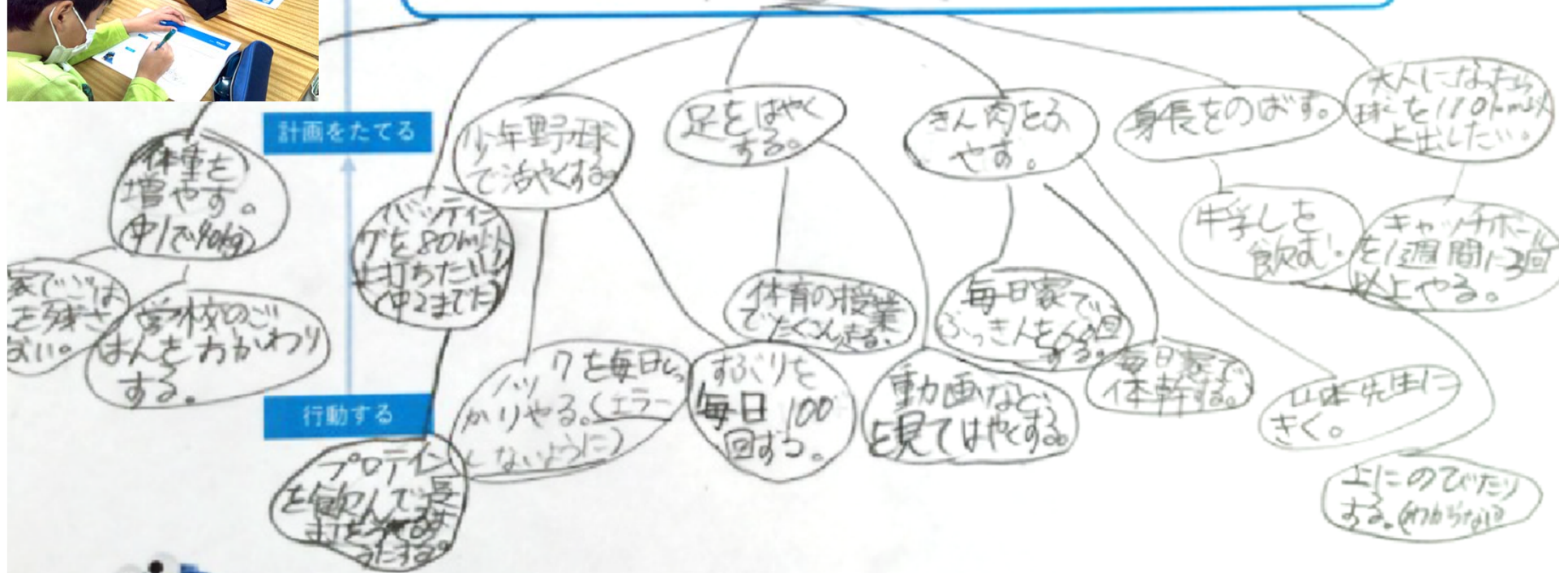


夢をえがく

プロ野球選手(メジャーに行く)

計画をたてる

行動する



「なりたいもの」や「やりたいこと」を言語化し、目標からさかのぼって 計画をたてる活動

戸田市版セサミストリートカリキュラム

「方法」と「手段」・4年生

～計画を立てる・行動する・問題を解決をする・コラボレーション～

4年3組 名前 [REDACTED]

遊びと工夫

長エリドッサーボールです。
 这天は、どちらかで、チームが同じ数になるように
 して、投げる方も同じじゅんぱんにしたこうです。
双対コートから裏に投げるチームは、横に1列、3列で知る

自分のよいところ

- ・日が高い
- ・やさしい
- ・回かんをよむのがまじりものしり
- ・外であそぶのが好き
- ・1人き
- ・よく食べる
- ・1人こう
- ・おしゃべり好き
- ・せがみ
- ・本が好き

役わり分たん

名前	役わり	理由
人見	ルール	声か大きいから
池田	じゅんぱん	
進藤	用い、じゅんぱん	コートのかたかわかるから
人見	フォルゼント	作ることが楽しいから

今日の学習のふりかえり

今日、学んだことは、役わりをきめるときは、その人のよいところを生かせる役わりにしたほうがいいということです。これからは今日学んだことを大切にします



役割分担について理解し、
自分の役割を理解して行動する活動

戸田市版セサミストリートカリキュラム

「多様性」と「インクルージョン」・3年生

～社会的スキル・多様性の理解・インクルージョンの実現～

123
SESAME STREET

3 2

新しいお友だちと出会うときの
コミュニケーションの方ほうを書いてみよう！

自分から相手に声をかけて
すきなことや今をつたべてしま
いごとを言う。あだなや名前を
言う。相手がうなづいてる
ことがあればたすける。
友だちになつて
と声をかける。
顔をあげてもらおう。
おすね物をして、まて
いるときにかす。



相手に関心・興味を持ち、敬意を持って
接することができる心を育てる。
相手を理解し、尊重する気持ちを高める。

戸田市版セサミストリートカリキュラム

4つの領域⇒

セサミストリートカリキュラム 総編 年別カリキュラムマトリクス Ver. (4月24日版)

学年⇒

学年	学習内容、指導内容、指導方法、ポイント											
	領域1	領域2	領域3	領域4	領域5	領域6	領域7	領域8	領域9	領域10	領域11	領域12
1	<p>領域1</p> <p>「おはようございます」の挨拶を覚える。</p> <p>「いただきます」「ごちそうさまでした」の挨拶を覚える。</p> <p>「さよなら」の挨拶を覚える。</p>	<p>領域2</p> <p>「いただきます」「ごちそうさまでした」の挨拶を覚える。</p> <p>「さよなら」の挨拶を覚える。</p>	<p>領域3</p> <p>「いただきます」「ごちそうさまでした」の挨拶を覚える。</p> <p>「さよなら」の挨拶を覚える。</p>	<p>領域4</p> <p>「いただきます」「ごちそうさまでした」の挨拶を覚える。</p> <p>「さよなら」の挨拶を覚える。</p>	<p>領域5</p> <p>「いただきます」「ごちそうさまでした」の挨拶を覚える。</p> <p>「さよなら」の挨拶を覚える。</p>	<p>領域6</p> <p>「いただきます」「ごちそうさまでした」の挨拶を覚える。</p> <p>「さよなら」の挨拶を覚える。</p>	<p>領域7</p> <p>「いただきます」「ごちそうさまでした」の挨拶を覚える。</p> <p>「さよなら」の挨拶を覚える。</p>	<p>領域8</p> <p>「いただきます」「ごちそうさまでした」の挨拶を覚える。</p> <p>「さよなら」の挨拶を覚える。</p>	<p>領域9</p> <p>「いただきます」「ごちそうさまでした」の挨拶を覚える。</p> <p>「さよなら」の挨拶を覚える。</p>	<p>領域10</p> <p>「いただきます」「ごちそうさまでした」の挨拶を覚える。</p> <p>「さよなら」の挨拶を覚える。</p>	<p>領域11</p> <p>「いただきます」「ごちそうさまでした」の挨拶を覚える。</p> <p>「さよなら」の挨拶を覚える。</p>	<p>領域12</p> <p>「いただきます」「ごちそうさまでした」の挨拶を覚える。</p> <p>「さよなら」の挨拶を覚える。</p>

戸田市版セサミストーリートカリキュラム

各校での実践に基づく
戸田市版セサミカリキュラムの開発

パイロット校による実践研究

H29パイロット校 1校
新曽小

H30パイロット校 3校
新曽小・喜沢小・芦原小

各小学校の推進者を育成

H30・31

戸田市教職員専門研修

各小学校で完全実施

H32

全小学校の生活科・
総合の時間において
段階的に実施



平成30年度 全国学力・学習状況調査結果【戸田市】

戸田市教育委員会教育政策室

		小学校6年生			中学校3年生		
		戸田市	全国	埼玉県	戸田市	全国	埼玉県
国語	A	73	70.7	71	75	76.1	75
	B	55	54.7	54	60	61.2	61
算数・数学	A	64	63.5	62	69	66.1	65
	B	53	50	51.5	49	46.9	47
理科		61	60.3	59	66	66.1	65

(平均正答率 単位 %)

<昨年度の結果との比較>

平成29年度 小学校6年生

	戸田市	全国	県	国との差
国A	77.0	74.8	75.0	2.2
国B	58.0	57.5	57.0	0.5
算A	80.0	78.6	76.0	1.4
算B	47.0	45.9	45.0	1.1

平成30年度 小学校6年生

	戸田市	全国	県	国との差
国A	73.0	70.7	71.0	2.3
国B	55.0	54.7	54.0	0.3
算A	64.0	63.5	62.0	0.5
算B	53.0	50.0	51.5	3.0

平成29年度 中学校3年生

	戸田市	全国	県	国との差
国A	78.0	77.4	76.0	0.6
国B	73.0	72.2	72.0	0.8
数A	68.0	64.6	63.0	3.4
数B	51.0	48.1	48.0	2.9

平成30年度 中学校3年生

	戸田市	全国	県	国との差
国A	75.0	76.1	75.0	-1.1
国B	60.0	61.2	61.0	-1.2
数A	69.0	66.1	65.0	2.9
数B	49.0	46.9	47.0	2.1

※理科は平成29年度実施なし

<同じ児童生徒集団での比較>

平成27年度 小学校6年生

	戸田市	全国	県	国との差
国A	69.3	70	68.7	0.7
国B	67	65.4	64.2	1.6
算A	75	75.2	73.1	-0.2
算B	45.4	45	43.1	0.4
理科	61.2	60.8	59.2	1.2

平成30年度 中学校3年生

	戸田市	全国	県	国との差
国A	75.0	76.1	75.0	-1.1
国B	60.0	61.2	61.0	-1.2
数A	69.0	66.1	65.0	3.1
数B	49.0	46.9	47.0	2.1
理科	66.0	66.1	65.0	0.1

同じ集団の3年後は…

とだっ子の学習状況について



小学校では、国語A・B、算数A・Bすべてにおいて国の平均正答率を上回る結果でした。特に、国語A、算数Bが高く、国語においては基礎的・基本的な知識・技能が身に付いていることがわかります。また、算数においては、活用する力が育まれつつあることがわかります。

中学校では、数学A・Bにおいて国の平均を上回る結果でした。しかしながら、国語A・Bともに、全国平均を下回りました。

同じ児童生徒集団の変化に目を向けると、国語においては3年前に比べると、A・Bとも下回りました。算数・数学においては、3年前より大きく上回り、国との差も開いてきています。

今後は、苦手分野の克服とともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善にさらに取り組んでまいります。

平成30年度 埼玉県学力・学習状況調査結果【戸田市】

戸田市教育委員会教育政策室

埼玉県と戸田市の平成30年度平均正答率の比較

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校1年生			中学校2年生			中学校3年生		
	埼玉県	戸田市	県比較	埼玉県	戸田市	県比較	埼玉県	戸田市	県比較	埼玉県	戸田市	県比較	埼玉県	戸田市	県比較	埼玉県	戸田市	県比較
国語	62.0	65.7	3.7	58.6	64.2	5.6	64.9	67.7	2.8	55.2	57.0	1.8	55.6	58.6	3.0	61.7	64.4	2.7
算数・数学	62.1	64.2	2.1	56.8	61.5	4.7	55.2	58.2	3.0	58.1	61.9	3.8	51.0	54.3	3.3	59.1	63.4	4.3
英語													65.4	69.3	3.9	58.5	63.0	4.5

(平均正答率 単位 %)

- 全ての学年、教科、領域等において、およそ2~5%県平均正答率を上回っている。
- 中学校の数学は、いずれも3%以上高い数値である。
- 英語はおよそ4%上回っている。

埼玉県と戸田市のH28~H30(過去3年間)の学力のレベルの伸びの比較

		小学校4年生		小学校5年生			小学校6年生				中学校1年生				中学校2年生				中学校3年生			
		H30	学力の伸び	H29	H30	学力の伸び	H28	H29	H30	学力の伸び	H28	H29	H30	学力の伸び	H28	H29	H30	学力の伸び	H28	H29	H30	学力の伸び
国語	埼玉県	6-C		6-C	6-A	2	6-C	6-A	7-B	2→2	7-C	7-B	8-C	1→2	7-B	8-C	8-B	2→1	7-A	8-B	8-A	2→1
	戸田市	6-B		6-A	7-C	1	6-B	7-C	7-A	2→2	7-C	7-A	8-C	2→1	7-A	8-B	8-A	2→1	8-C	8-B	9-C	1→2
算数・数学	埼玉県	5-B		5-B	6-C	2	5-B	6-C	6-A	2→2	6-B	6-A	7-B	1→2	7-C	7-B	7-A	1→1	7-B	8-C	8-A	2→2
	戸田市	5-A		5-A	6-B	2	5-A	6-B	7-C	2→2	6-A	7-C	7-A	1→2	7-B	7-A	8-C	1→1	7-A	8-B	9-C	2→2
英語	埼玉県																8-A		-	8-A	10-C	4
	戸田市																9-C		-	9-C	10-A	5

(学力のレベルについては、次ページ参照)

- 全学年すべての教科において、県以上の学力のレベルを維持しつつ、更に県と同程度、学力を伸ばすことができている。
- H29中2→H30中3の国語、H29中2→H30中3の英語の伸びは、県平均の伸びを上回っている。
- ▲H29小5→H30小6の国語、H29小6→H30中1の国語の伸びは、県平均の伸びを下回っている。

H28～H30の学力のレベルの推移(赤矢印H29→H30の伸び)

国語

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
レベル11、12 省略						
レベル10						
レベル9						
						H28H29 H30
レベル8				H27H29	H28H29	
				H28 H30		
レベル7		H27	H27H28 H29H30			
		H28H29 H30				
レベル6	H29					
	H28 H30					
レベル5	H27					
レベル1～レベル4 省略						

算数・数学

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
レベル11、12 省略						
レベル10						
レベル9						H28
						H29H30
レベル8					H29	
					H27H28 H30	
レベル7				H28H29 H30		
				H28	H27	
レベル6			H27H28			
			H29 H30			
レベル5			H27H28 H29 H30			
レベル1～レベル4 省略						

英語

	中2	中3
レベル11、12 省略		
レベル10		H30
		H29
レベル9	H27	
	H28H29 H30	
レベル8		
レベル7		
レベル6		
レベル5		
レベル1～レベル4 省略		

【参考】学力のレベルについて

①各帳票における学力のレベルについて

レベル	レベル(3分割)	数値
レベル12	12-A	36
	12-B	35
	12-C	34
レベル11	11-A	33
	11-B	32
	11-C	31
レベル10	10-A	30
	10-B	29
	10-C	28
レベル9	9-A	27
	9-B	26
	9-C	25
レベル8	8-A	24
	8-B	23
	8-C	22
レベル7	7-A	21
	7-B	20
	7-C	19
レベル6	6-A	18
	6-B	17
	6-C	16
レベル5	5-A	15
	5-B	14
	5-C	13
レベル4	4-A	12
	4-B	11
	4-C	10
レベル3	3-A	9
	3-B	8
	3-C	7
レベル2	2-A	6
	2-B	5
	2-C	4
レベル1	1-A	3
	1-B	2
	1-C	1

レベルとは

「学力推定結果の平均値(=能力値)」を、学力を測定する尺度上で一定の間隔で分割して表したものです。

①学力のレベルは、小学校4年生から中学校3年生まで12のレベルに分割して表しています。

②1つのレベルをさらに3分割し、上から順にA,B,Cで表しています。

③レベル(3分割)と数値の対応は表の通りです。

④「01.教科に関する調査採点結果」等に記載されている学力レベルは、左の表の「レベル(3分割)」で記載しています。

⑤「01.教科に関する調査採点結果」等に記載されている学力の伸びは、学力のレベルを左の表の「数値」に変換し、その差分を記載しています。

各学年ごとのレベルの範囲

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
レベル12						
レベル11						
レベル10						
レベル9						
レベル8						
レベル7						
レベル6						
レベル5						
レベル4						
レベル3						
レベル2						
レベル1						

学力のレベル表記は、1～12段階ありますが、測定は各学年7レベルの間で行います。

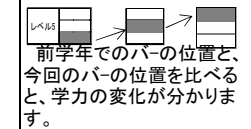
各学年の測定範囲は、各学年を縦に見た白い部分です。

学年	学力のレベル
小学校4年生	レベル1～レベル7
小学校5年生	レベル2～レベル8
小学校6年生	レベル3～レベル9

学年	学力のレベル
中学校1年生	レベル4～レベル10
中学校2年生	レベル5～レベル11
中学校3年生	レベル6～レベル12

1つのレベルは、それぞれ3層に分かれています。同じレベルの中で、スモールステップの伸びを表します。

例えば、同じレベル5の中でも、学力のレベルが高くなるとバーの位置が変わります。



全国学力・学習状況調査及び埼玉県学力・学習状況調査に係る

戸田市の結果の公表について

平成 30 年 8 月

教 育 政 策 室

1. 教育委員会

教育委員会は本市小・中学校全体の結果の概要をホームページで公表する。学校ごとの結果は公表しない。

2. 学校

各学校は、校長の判断で、自校の学校の結果について校長会に諮った上で公表することが可能。なお、公表する際は、単に平均正答率等の数値にのみならず分析結果も付記する。さらに、今後の改善方策も速やかに示すこと。

全国学力・学習状況調査と埼玉県学力・学習状況調査の 本年度の分析・活用について

平成30年度8月
教育政策室

本年度は、埼玉県学力・学習状況調査と全国学力・学習状況調査のそれぞれの分析や活用について、時期や方法等のアプローチを変えてこれを行う。

○全国学力・学習状況調査について

- ・分析報告書には平均正答率のみを記載
- ・各学校において自主的に問題分析を進める
- ・詳細な問題分析手法についての研修を秋頃に実施予定

○埼玉県学力・学習状況調査について

- ・各学校において問題分析を行い、分析報告書に学年別の調査結果と分析結果を記載
- ・教育委員会においてクラスごとの学力の伸びのデータを作成し（次年度は各学校において作業することを予定）、「授業力」の高い教員を見つけて優れた指導法を分析

○共通事項

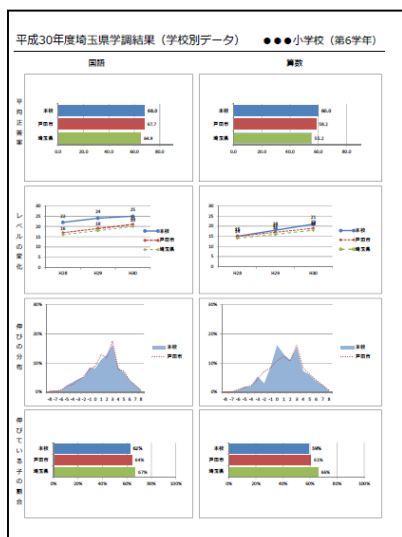
- ・正答率が低い問題をピックアップしてその原因について考える等、問題分析をしっかりと行う
- ・分析にあたっては、一部の管理職や教員がこれを行うのではなく、できる限り多くの教員を巻き込む

埼玉県学力・学習状況調査の活用

学校

〈学年データ〉

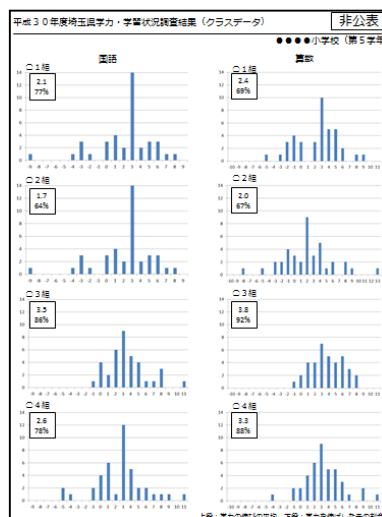
公表



・各学年の学力と「学力の伸び」

〈クラスデータ〉

非公表



・各クラスの学力の伸びの分布
 ・学力の伸びの平均と学力が伸びた子供の割合

次学年における
学年会議等での活用

個々の先生への
フィードバック

その学年の学力の課題に係る自己分析と今後の方向性の検討

「授業力」ある教師の発見と本人への聞き取り等による優れた指導法等の分析

学力の伸びに課題がある子の発見とケア

分析報告書の提出

優れた取組の
情報共有

教育委員会

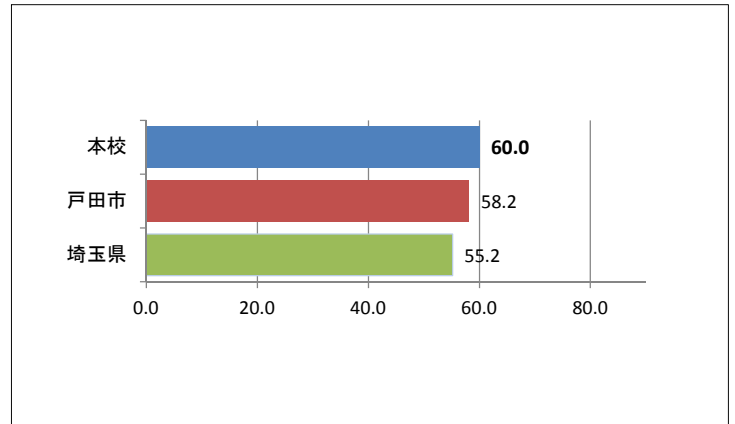
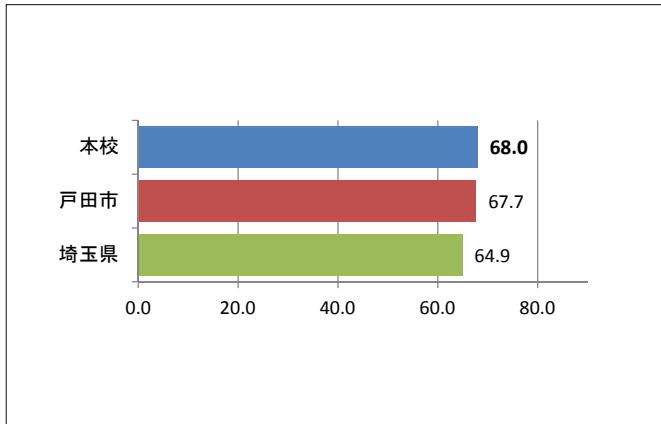
- ①学校データとクラスデータの一括管理
- ②優れた学校の取組や指導法のデータ蓄積

学力調査の全体の結果の公表

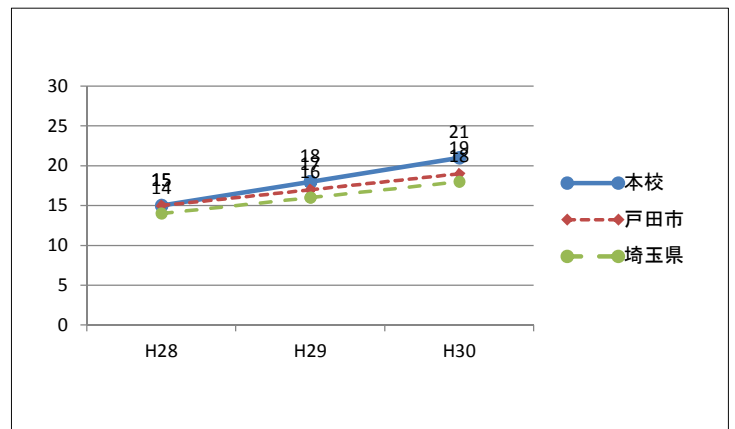
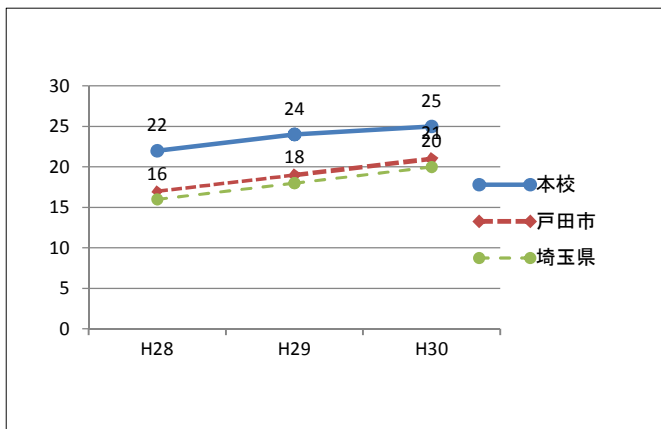
国語

算数

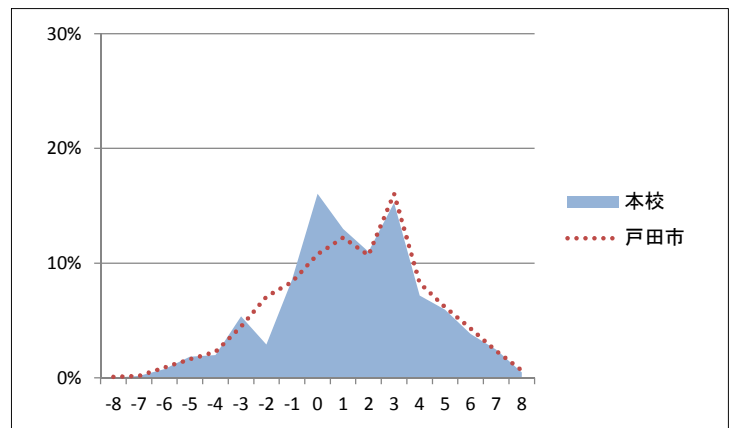
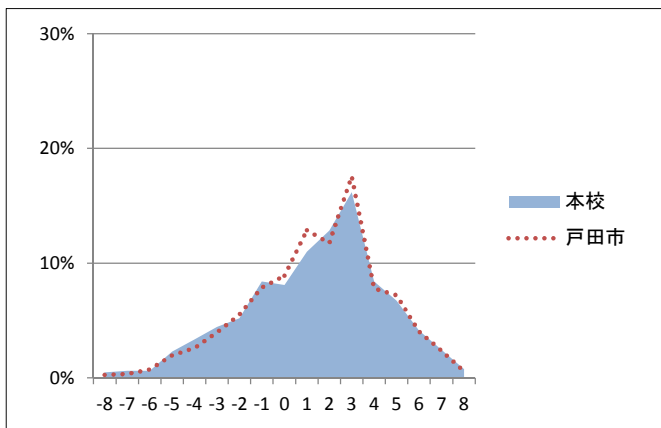
平均正答率



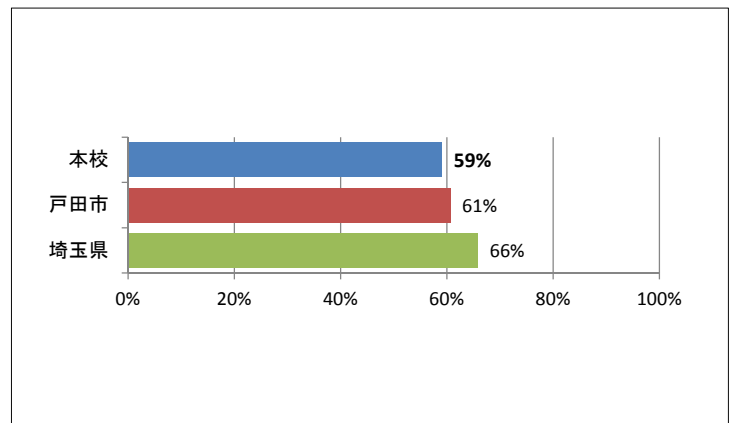
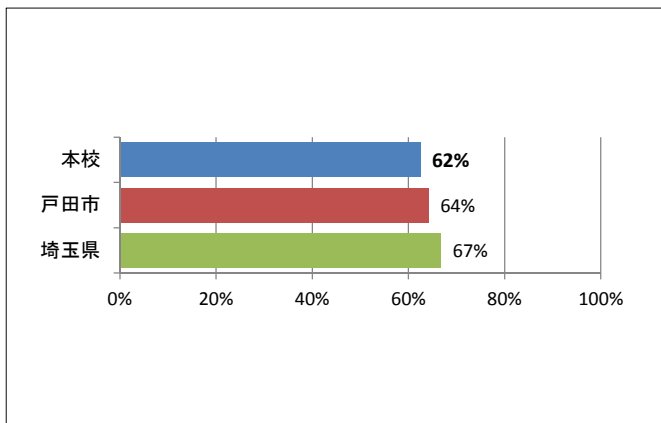
レベルの変化



伸びの分布

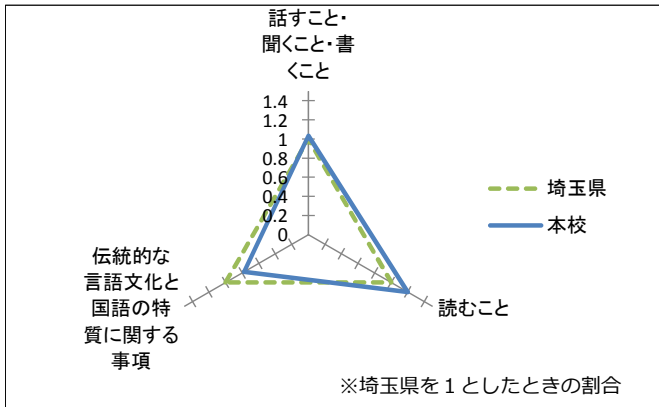


伸びている子の割合

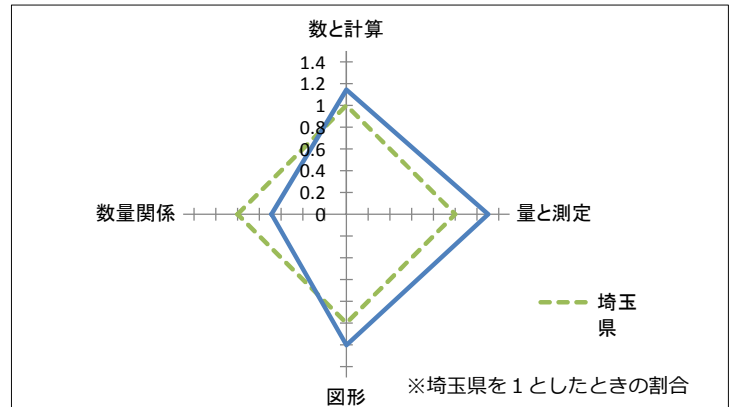


教科の領域別結果

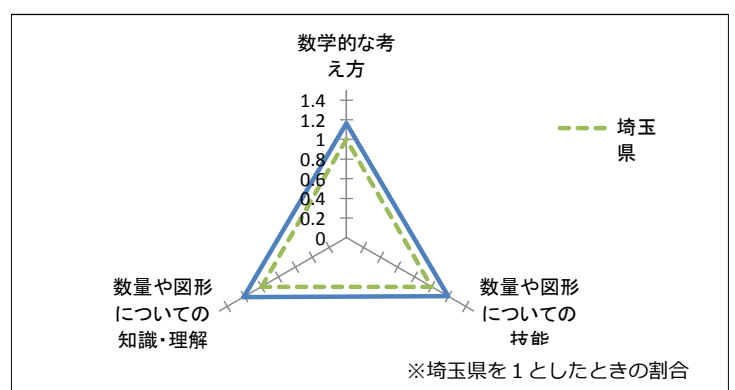
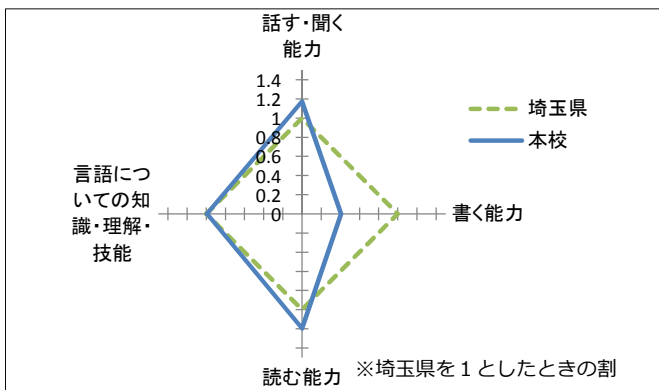
国語



算数



評価の観点別結果



課題の考察と問題分析

Blank box for subject analysis.

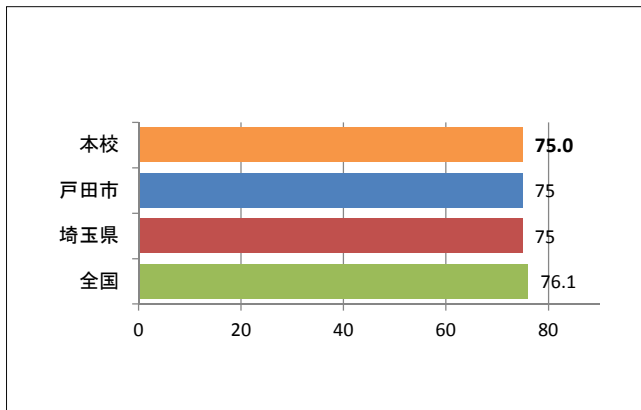
Blank box for subject analysis.

全体考察

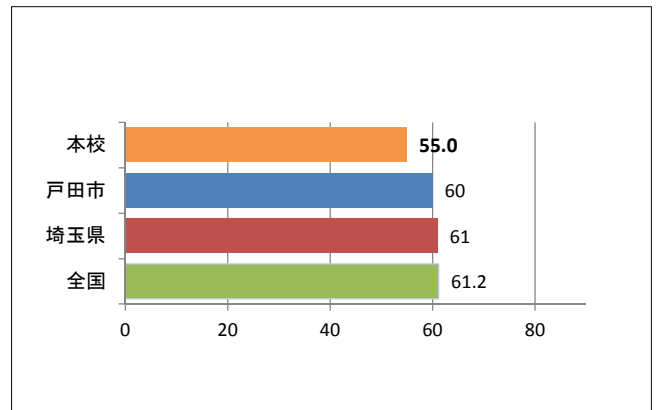
Blank box for overall reflection.

平均正答率

国語A

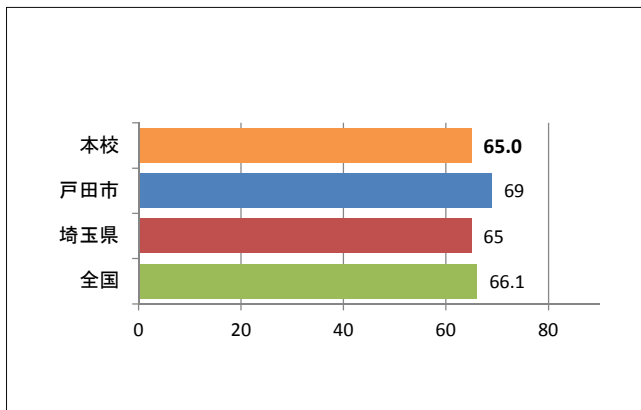


国語B

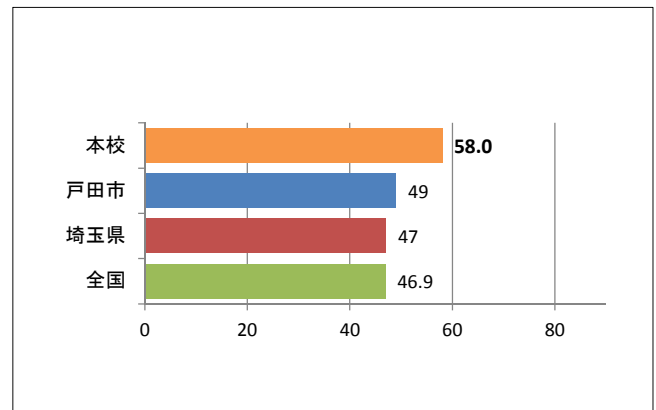


平均正答率

数学A

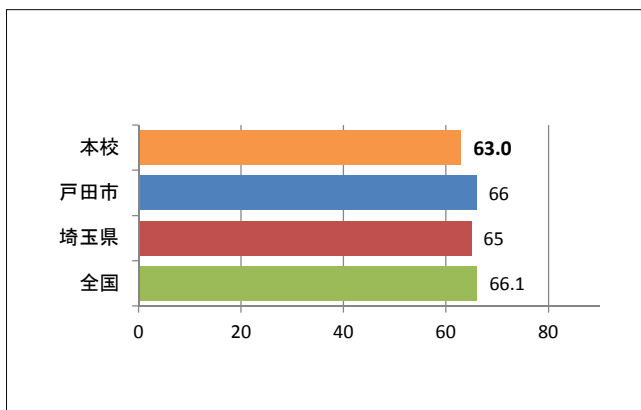


数学B

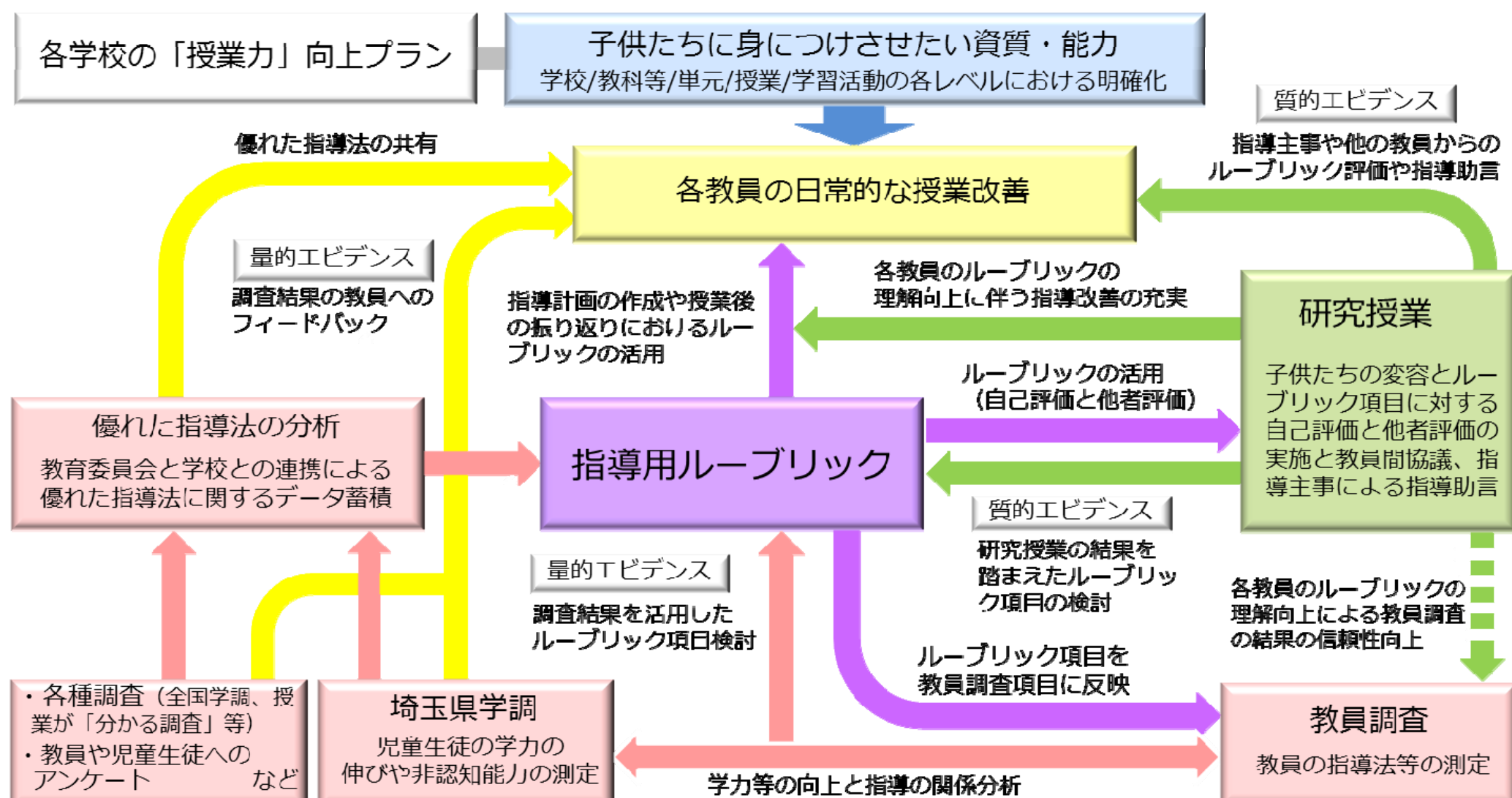


平均正答率

理科



アクティブ・ラーニング推進のための戸田型授業改善モデル



1. 子供たちが身につけさせたい資質・能力の明確化

- ◆子供たちに身につけさせたい資質・能力を、学校→教科等→単元（題材）→授業→具体的な学習活動の各レベルにおいて明確化し、授業の目標を設定する。

2. ルーブリックの中核化

- ◆アクティブ・ラーニング推進のための「指導用ルーブリック」（以下「ルーブリック」）を、各教員の日常的な授業改善、研究授業、教員調査等のすべての取組をつなぐための拠り所とする。

（※）指導用ルーブリックは、アクティブ・ラーニング研究員、学校管理職、研究主任等が特色ある7つの授業について観察、評価、協議を行うことで作成された延べ100枚の評価シートから、教科横断的且つ重要な指導要素を段階的に抽出したもの。

- ◆研究授業、授業研究会、校内研修等の取組を通じて、ルーブリックの理解（＝アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善についての理解）を効果的に深める。

3. 各教員へのフィードバックの充実

- ◆授業改善に向けた気づきを生む各教員へのフィードバックを重視する。
- ◆県学調の結果などの量的エビデンスや、授業後の子供たちの振り返りや研究授業における自己評価と他者評価に基づく協議結果などの質的エビデンスの双方の視点を盛り込んだ効果的な情報の組み合わせによるフィードバック手法を検討する。

4. アクティブ・ラーニングへの理解を加速する質の高い研究授業

- ◆研究授業において授業者と観察者がともにルーブリックを用いて評価し、その評価の違い等について協議すること、また研究授業と公開授業とともに指導主事からルーブリックに沿ったスーパープレゼンテーション型の指導を行うことで、アクティブ・ラーニングへの理解を一気に深める質の高い研究授業を実施する。

5. エビデンスベースでのルーブリックの継続的改善

- ◆教員調査にルーブリック項目を盛り込み、県学調による学力の伸びとの関係性を分析（量的エビデンス）。また、研究協議等における評価シート等のデータを蓄積（質的エビデンス）。これらをもとに、ルーブリックの項目について検証・改善を行う。

平成30年度「学力向上プラン」の見直しについて

毎年の「学力向上プラン」を、戸田市の本年度の重点項目であるアクティブ・ラーニングの視点に立った組織的な授業改善を中心とした学校経営改善の枠組みの中で捉え直し、以下の方針に沿って見直す。

これまでの「学力向上プラン」

- ・ 毎年度、年度の数を変えて提出されるものが多く、**形骸化**。
- ・ **目標**が学校教育目標ベースで**抽象的**。その学校独自の**課題も見えにくい**。
- ・ 基本的な概念や具体的な取組について、一般的な事項が多く**総花的**。
- ・ 文字が多く何が大事か**わかりにくい**。

平成30年度の方針

- ・ 本プランの策定を、学校の目標や課題について**全教職員で話し合う契機**に。
- ・ 一般的な事項は削除し、その**学校の特色がわかる**ものに。
- ・ 保護者を含め一般の方にも学校経営の全体像がわかるよう、**極力シンプル**に。
- ・ 指導用ルーブリックをベースとしたアクティブ・ラーニングの推進の観点からの授業改善のための取組を、本年度の重要事項として必ず盛り込む。
- ・ 本プランを**学校運営の軸として継続的に見直し**ていく。

報告事項

平成30年第9回教育委員会(定例会)

平成30年8月22日(水)

戸田市役所3階 教育委員室

1 報告事項

ページ

- ① 戸田市教職員専門研修実施報告について……………当日配付
(教育政策室)
- ② 戸田市サイエンスフェスティバル実施報告について…………… 1
(教育政策室)
- ③ 活動中の事故に係る教員の法的責任について…………… 4
(教育政策室)
- ④ 戸田第一小学校建て替え準備委員会について……………別紙
(教育総務課)
- ⑤ その他

平成30年度 夏季休業中の戸田市教職員専門研修 まとめ①

新しい学びの支援に関する研修会 (PEERカリキュラム研修会)

- プログラミング教育研修会・・・7月31日(火)
- 小学校英語教育研修会・・・7月31日(火)
- 中学校英語教育研修会・・・8月3日(金)
- 経済教育研修会・・・8月8日(水)
- 小学校セサミカリキュラム研修会・・・8月6日(月)
- リーディング・スキル研修会・・・8月6日(月)

1 プログラミング教育研修会 (受講者27名 満足度 4.70点【5点満点中】)



午前にはベネッセコーポレーションの星千絵様、小田理代様を指導者に、戸田市作成のプログラミング教育テキストに沿ったScratchの指導プランと各教科におけるプログラミング教育の授業づくりについて講義と演習に取り組んだ。

午後は情報通信総合研究所の平井総一郎様から、なぜプログラミング教育が求められるのかを御講義いただいた後、PCを使わないアンプラグドプログラミングの体験を通して、誰でもすぐに取り組めるプログラミング教育の在り方について研修を深めた。

いずれも夏季休業後、「すぐに」使える内容であった。

＜受講者の感想＞

- ・実践例を多く学ぶことができ、早速夏休み明けから取り組んでいこうと思う。
- ・これからの教育にプログラミングは欠かせないものと思った。
- ・プログラミングが子供の思考を深める上で大切なのだと感じた。
- ・子供たちの喜ぶ姿が目に見え、授業実践に生かしたいと思った。

2 小学校英語教育研修会 (受講者26名 満足度 4.85点)



次期学習指導要領のポイントを示し、進むべき英語教育の方向性を確認した。また、ALTと一緒にクラスルームイングリッシュを何度も練習した。さらに、戸田市英語教育運営指導委員の先生方に授業で活用できる「単語になじむ活動」、「コミュニケーションになじむ活動」や「文字になじむ活動」を紹介していただき、参加教員全員で実際に体験した。最後に松香フォニックスの高塚様からデジタル教材「SWITCH ON!」の有効活用について御講義を受けた。演習中心の有意義な研修になった。

＜受講生の感想＞

- ・アクティビティがパターン化して困っていたので、様々な新しい活動を教えていただき、夏休み明けの授業で早速試してみたい。
- ・次期学習指導要領のポイントがすごくわかりやすかった。
- ・他校の同学年のグループで活動をしたので、プランや日頃の悩みも話せてよかった。
- ・SWITCH ON!をもっと効果的に使える術を聞いたので試してみたい。

3 中学校英語教育研修会（受講者16名 満足度 4.00点）



新学習指導要領改訂のポイントを示すとともに、全国学力・学習状況調査テストの予備調査を分析した後、授業をどのように改善すべきかグループ協議をした。その後、音声学の第一人者である村川先生から、子音をきちんと出す発音指導を受けた。中でも重要な「r」については例文を読みながら丁寧な個別指導をいただくことができた。午後は起承転結を意識した「論理的に文章を書く演習」に取り組み、読者の心をひきつけるための「トピックセンテンス」の立て方の重要性を学んだ。

＜受講者の感想＞

- ・新学習指導要領のポイント、国の学力調査からの研究議論は、今後どのような授業を行っていくべきかの示唆となった。
- ・弁論の組み立て方が分かったので、弁論の指導や授業のスピーチ指導で生かしたい。
- ・今日ほど細かく発音について指導を受けたことがなかったので、とてもためになった。

「青山学院大学 CALL 教室」について

CALL（Computer-Assisted Language Learning）

外国語を学ぶため言語教育用ICTシステム

戸田市は青山学院大学と包括連携協定を結んでおり、今年度も昨年度に引き続き、研修会場として青山学院大学CALL教室を提供していただいた。

指導者として、日本の語学教育の第一人者である村川 久子 先生（現 武蔵野大学 教育学部 特任教授）に御指導いただいた。



4 経済教育研修会（受講者18名 満足度 4.61点）



講師に一般社団法人 CEE ジャパン代表理事専務中許善弘様をお迎えし、体験を中心とした研修を実施した。前半は、先生方に会社経営者になってもらい、意思決定シミュレーションを行った。「意思決定」により「結果」（会社の業績）が生まれ、そこには経営者としての「責任」が伴う。体験を通して「意思決定」の重要性を学んだ。後半は、子供向けの経済教育アクティビティを体験し、実践力の向上を図った。アクティビティを活用しながら、子供たちに「考える習慣」や「質の高い選択ができる力」を育成していきたい。

＜受講者の感想＞

- ・意思決定シミュレーションを通して、自分の意思決定がどのような影響を及ぼすのか肌身で感じた。
- ・日々の意思決定を大切にしている子、自分の行動に責任を持てる子を育てていきたい。
- ・アクティビティに参加したことで、自分たちが経済活動を日頃から行っていることを実感できた。

5 小学校セサミカリキュラム研修会（受講者14名 満足度 4.71点）



はじめに、セサミストリートカリキュラムの概要について、セサミワークショップの長岡様から講義を受けた。

次に、セサミストリートティーチャーの為田様の模擬授業を通して、セサミストリートカリキュラムの特長について、学ぶことができた。

また、パイロット校の新曽小学校福田教諭より、実践から見てきたセサミストリートカリキュラムの授業づくりで大切なことについてお話いただき、さらに理解を深めることができた。

＜受講者の感想＞

- ・1つの問題や課題があった時、多様な解決方法を見つけ出す力を身に付けさせることができる。どの学年どの学級でも取り入れられるカリキュラムだと思った。
- ・子供たちから、たくさん意見を引き出せる授業であると、感じた。今年中に一本やってみたい。

6 リーディング・スキル研修会（受講者25名 満足度 4.36点）



国立情報学研究所特任教授 菅原真悟先生にお越しいただいた。はじめに、受講者全員でリーディングスキルテスト（RST）に6種類すべての問題について、およそ40分間取り組んだ。次に、「RSTとは、どのように設計されたテストであるのか」等について御講義をいただいた。最後には、菅原先生の御指導の下、先生方が係り受け解析・照応解決RSTの問題作成（2問程度）を行った。これらの問題は互いに交換し解き合い検討をすることで、問題づくりの理解を深めていくこともできた。

＜受講者の感想＞

- ・係り受けや照応が、6つのスキルの中でもまず大切になることや、授業の中で意識させるような問いかけをしていくことの重要性がよく分かった。
- ・RSが不足している子供たちが一定数いるという前提で授業づくりをすることが大切であることが分かった。

7 プレゼンテーション研修会（受講者18名 満足度 4.67点）



前半は、インテル株式会社の竹元様から「日本一のプレゼンテーション教育に向けて」をテーマとし、「プレゼンに必要な技能」や「ルーブリックを活用したプレゼンの見方」等の講義をいただいた。

後半は、実際にプレゼンの映像を視聴し、「自分だったらどのように評価するのか、どのように指導するのか」をグループで議論した。

教師がルーブリックの内容を理解することが、児童・生徒への具体的な指導につながることを学ぶ有意義な研修となった。

＜受講者の感想＞

- ・グループで議論したことで、実際に指導する際に直面する課題が予測できた。
- ・実際のプレゼンをルーブリックをもとに評価する実践を通して、児童に指導するポイントが見えてきた。
- ・何を子供たちに考えさせたいのかをしっかりと考えるなければいけないと改めて感じた。

教員のライフステージに応じた研修会

7月30日(月)

「Intel® Teach Elements プロジェクト型アプローチ」について

インテル開発のオンライン研修コース

ICTを効果的に活用して、児童生徒が自ら考える力を育てる“思考支援型”授業を実現するための「プロジェクト型学習」について学ぶ研修コース。

今年度は、各学校で「プロジェクト型学習」の推進者となる教員を対象に研修を行った。



(intel®HPより)

8 戸田市MT (マスターティーチャー) 養成研修 (受講者18名 満足度 4.22点)



この研修のねらいは、21世紀型スキル育成のための授業力向上を図り、各校のマスターティーチャーとして、実践していくことである。

研修では、21世紀型スキルについての理解や、プロジェクト型学習による児童生徒主体の思考支援型授業デザインを学んだ。

今後実践予定の指導案を持ち寄り、21世紀型スキル育成の視点を踏まえ、児童生徒主体の授業への改善を図った。全体発表をすることで、今後の実践に生かせる視点を共有することができた。

〈受講者の感想〉

- ・21世紀型スキルを育成する学習者中心の授業デザインについて理解できた。ねらいをもって実践したい。
- ・未来を担う子供たちを育成するためにも、教師側も考え方を変わらなければいけないと感じた。21世紀型スキルを子供たちが活用していけるような授業の工夫を考えていきたい。

学級経営力向上研修会

7月27日(金)

9 学力向上につながる学級経営力向上研修会 (受講者23名 満足度 4.48点)



本研修会では、県教育局市町村支援部義務教育指導課 矢口 岳人 指導主事に埼玉県学力・学習状況調査の分析・活用について御講義いただいた。特にアクティブ・ラーニングに加え、学級経営が児童生徒の非認知能力及び学習方略の向上に影響し、学力(認知能力)を向上させていることを説明いただいた。

後半は、更なる学力向上のため、自身の学級経営を振り返り、グループごとに分かれディスカッションし、具体的な指導方法を時間の限り熱心に協議することができた。

〈受講者の感想〉

- ・個に応じた学習指導等は難しいものと思った。学校・生徒・保護者の連携が何よりも大切なものと感じた。
- ・様々な観点から課題提示があり、幅広く協議することができた。自分の課題については、中学校の先生からも意見が聞けて、中学校の思いや願いも知ることができた。

共生社会形成に向けた研修会

- 考え、議論する道徳指導法研修会 8月1日(火)
- 授業のユニバーサルデザイン化研修会 8月3日(金)
- 特別支援教育研修会 8月8日(水)

10 考え、議論する道徳指導法研修会 (受講者20名 満足度 5.00点)



本研修会では、日本道徳基礎教育学会理事である神奈川県横須賀市立神明小学校教諭根本哲也先生を指導者にむかえ、「深く考える道徳授業を目指す授業づくり」について学んだ。教材を多面的・多角的にとらえ、子どもが主体的に学ぼうとする授業の工夫について御指導いただいた。

また、演習として、共通教材について、グループで中心発問と補助発問を考え、ねらいに迫ることができているかを協議し合った。

＜受講者の感想＞

- ・教材分析の仕方や子どもに対する発問、道徳的価値への迫り方について具体的に教えていただくことができた。
- ・実践に基づいた内容でとても分かりやすかった。
- ・子どもの考えを広げるための思考ツールや発問の仕方、板書の仕方教材研究の仕方がとても勉強になった。

11 授業のユニバーサルデザイン化研修会 (受講者27名 満足度 4.93点)



本研修会では、UD 埼玉支部事務局員である八潮市立八條小学校柳橋知佳子主幹教諭を指導者にむかえ、「ユニバーサルデザインを生かした授業づくり、学級づくり」について学んだ。

柳橋先生の実践を交えながら、明確な指示の仕方、学びの提案の仕方を学び、どの子どもも主体的に活動し、自信につなげる大切さを共有することができた。

＜受講者の感想＞

- ・子供がやりたいと思うようなしかけを作り、スモールステップをふむことによって、褒める機会を増やすことの大切さを感じた。
- ・通常学級の中にも「できない」ではなく「わからない」、困っている子が多くいて、UDの視点が必要なのだと学んだ。

12 特別支援教育研修会 (受講者69名 満足度 4.67点)



本研修では、(株) LITALICOの野口晃菜執行役員を指導者にむかえ、小・中学校に加えて幼稚園、保育園等から69名が参加した。

「通常学級に在籍する特別な支援が必要な子どもへの指導・支援について」をテーマに個と環境の関係性の中に困難さがあることや、集団や個別にできる工夫について学んだ。

全体研修会後は個別相談会や教材紹介も行った。

＜受講者の感想＞

- ・ノウハウだけではなく、学術的根拠に示された考え方を示していただいた。実践例もたくさん教えていただいたので、新学期にやってみたい。
- ・一人一人の特性に合わせた学び方を、教わった事例を参考にしながら見つけていきたい。

平成30年度 夏の専門研修 アンケート項目のまとめ

	研修会名 (研修協力団体企業名等)	プログラミング 教育研修会 (ベネッセ/ 情報通信総合研究所)	小学校英語活動指導法 研修会 (ALT/ 松香フォニックス)	中学校英語担当教員 指導法研修会 (青山学院大学)	経済教育研修会 (CEEジャパン)	※小学校 セサミカリキュラム研修会 (セサミワークショップ)	※リーディング スキル研修会 (国立情報学研究所)	プレゼンテーション 研修会 (インテル)
	参加者数(名)	27	26	16	18	14	25	18
アンケート項目 (5段階の参加者平均値)	1 研修への主体性	4.70	4.88	4.13	4.83	4.86	4.68	4.67
	2 内容の理解度	4.52	4.85	4.44	4.44	4.57	4.32	4.69
	3 学校での実践意欲	4.81	4.96	3.81	4.17	4.50	4.20	4.72
	4 研修の満足度	4.70	4.85	4.00	4.61	4.71	4.36	4.67
	総合評価	4.69	4.88	4.09	4.51	4.66	4.39	4.69

	研修名	戸田市MT(マスター ティーチャー)養成研修会 (インテル)	※学力向上につながる 学級経営力向上研修会 (義務教育指導課)	考え、議論する道徳 指導法研修会 (日本道徳基礎教育学会)	授業のユニバーサルデ ザイン化研修会 (日本授業UD学会埼玉支部)	特別支援教育 研修会 (LITALICO)	全研修会 平均値	※は本年度新規の 研修会
	参加者数(名)	18	23	20	27	69		
アンケート項目 (5段階の参加者平均値)	1 研修への主体性	4.50	4.78	4.95	4.89	4.62	4.71	
	2 内容の理解度	4.06	4.74	4.85	4.85	4.68	4.58	
	3 学校での実践意欲	4.50	4.61	4.95	4.93	4.67	4.57	
	4 研修の満足度	4.22	4.48	5.00	4.93	4.67	4.60	
	総合評価	4.32	4.65	4.94	4.90	4.66	4.62	

参加者合計 301名(昨年度265名)

【成果】 (○: 成果)

○PEERプログラムに関する研修については、昨年度までのプログラミング教育研修会、英語研修会、経済教育研修会に加え、本年度はセサミカリキュラム研修会、リーディングスキル研修会を新たに実施できた。

○本年度新たに、セサミワークショップ、国立情報学研究所、LITALICO(リタリコ)、県教育局、日本道徳基礎教育学会、日本授業UD学会からも、研修への協力をいただくことができた。

○事前に「研修で学びたいこと」について、受講者からアンケート(Googleフォーム)を回収し担当が周知することで、講師の先生方と事前に調整を図り、より参加者にとって満足度を高める研修会とすることができた。

○「考え、議論する道徳研修会」では、教育交流提携をしている西会津町と、webカメラを使った遠隔研修会を実施することができた。

○数年では例を見ない、のべ300名を超える先生方に参加いただいた。

○総合評価4.62(5点満点)という高評価を得ることができた。

【課題】 (●: 課題、→改善策)

●少数ではあるが、「日々の授業に活かせる内容がもう少し多くあるとよかった」という振り返りがあった。

→すべての研修内容が授業に直結するような「how to 研修」ではないが、授業に活かせる研修という視点は引き続き大切にしながら、日々研修ができない「what to 研修」についても充実させていく。

●受講者が多く、研修会場を狭く感じることもあった。

→センター2階会議室でもタブレットPCは使えるよう環境が整っているため、研修会場は必要に応じ柔軟に考えていく。

戸田市サイエンスフェスティバル実施報告について

芦原小学校において、「戸田市サイエンスフェスティバル2018～子ども大学とだ～」を開催いたしましたので、次の通り報告いたします。

1 実施日時

平成30年7月21日（土） 13:15～16:00

2 参加人数

児童生徒数……451人




保護者・幼児…455人 合計906人（昨年度930人）

3 講座名及び参加団体

No.	講座名	団体名	参加数
①	天体教室	グリーンガーディアンズ 西塔幸由 氏 他3名	新規
②	森からのおくりもの ～間伐材でコースターをつくろう～	東京ガス株式会社埼玉支社 宮崎壺次 氏 他1名	4回
③	ストロー浮沈子	科学クラブ・彩ねっと 川名英二 氏 他2名	3回
④	炎に色をつけよう！ - カラーキャンドル作成 -	日本薬科大学 和田重雄 氏（他3名）	新規
⑤	かんたん！ロボットプログラミング	エルプレイス 玉水 亘 氏	2回
⑥	物理面白実験（ガウスの加速器ほか）	埼玉大学教育学部 近藤一史 氏（他学生4名）	10回
⑦	「わくわく科学工作」	戸田市理科教育研究部	8回
⑧	飛ぶタネの模型づくり	彩湖自然学習センター 学芸員 當麻景一 氏 他4名	10回
⑨	世界一飛ぶ紙飛行機をつくろう！	tanQuest 塩屋純一 氏	新規
⑩	プログラミング「ビスケット」を使って 自分で描いた絵を動かして遊ぼう	Code for TODA 伊藤利昭 氏（他3名）	3回
⑪	「電子ほたるを作ろう」	travelling museum 博物倶楽部 榎本 宏 氏（他3名）	4回
⑫	「パソコンでロボットを動かそう！」	株式会社ナリカ 染谷大介 氏	9回
⑬	「理科自由研究相談会」	戸田市理科教育研究部	10回
⑭	ミクロの世界をのぞこう ～顕微鏡を使った観察～	戸田市理科ボランティア	10回
⑮	「おもしろ理科体験」	株式会社ケニス・東和産商 戸田市理科ボランティア	8回

4 各講座の様子

<p>①「天体教室」 【グリーンガーディアンズ】 天体望遠鏡を触って天体望遠鏡の仕組みを学び、遠くを見たり星座と惑星の関係を学んだりしました。</p> 	<p>②「森からのおくりもの」 【東京ガス株式会社埼玉支社】 森に増えすぎて切られた木＝間伐材を使って、コースターを製作しました。</p> 
<p>③「ストロー浮沈子」 【科学クラブ・彩ねっと】 水を満たしたペットボトルの中を浮いたり沈んだりする浮沈子を作り、不思議な体験をしました。</p> 	<p>④「炎に色をつけよう！」 【日本薬科大学】 光と色の仕組みを学び、炎色反応を体感して、カラーキャンドルを作成しました。</p> 
<p>⑤「かんたん！ロボットプログラミング」 【エルプレイス】 タブレットでプログラミングしたロボットを動かして、ミッションに挑戦しました。</p> 	<p>⑧「物理面白実験（ガウスの加速器ほか）」 【埼玉大学教育学部】 鉄球をレールの上で転がし、磁石の力で鉄球の速さが変わる不思議な体験をしました。</p> 
<p>⑦「わくわく 科学工作」 【戸田市理科教育研究部】 スライムを作ったり、ペーパークラフトで製作をしたりしました。</p> 	<p>⑧「飛ぶタネの模型づくり」 【彩湖自然学習センター】 不思議な飛ぶタネの模型を作り、実際に飛ばし、飛行距離を競いました。</p> 
<p>⑨「世界一飛ぶ紙飛行機をつくろう！」 【tanQuest】 よく飛ぶ紙飛行機とそうでないものの違いなどを考え、よく飛ぶ紙飛行機づくりに挑戦しました。</p> 	<p>⑩「プログラミング「ビスケット」を使って自分で描いた絵を動かして遊ぼう」 【Code for TODA】 プログラミング教材「ビスケット」でパソコン画面上に描いた絵を動かして楽しみました。</p> 
<p>⑪「電子ほたるを作ろう」 【travelling museum 博物倶楽部】 ホテルの生態について学び、LEDとボタン電池で光が点滅するほたるのおもちゃを作りました。</p> 	<p>⑫「パソコンでロボットを動かそう！」 【株式会社ナリカ】 タブレットでプログラムを組み、ロボットが目的の動作をできるように試行錯誤しました。</p> 

<p>⑬「ミクロの世界をのぞこう」</p> <p>【運営協力教員】</p> <p>小さな生き物の様子など、普段見ることのできないミクロの世界を観察しました。</p> 	<p>⑭「理科自由研究相談会」</p> <p>【戸田市理科教育研究部】</p> <p>自由研究の進め方について相談し、理科の先生からアドバイスをもらいました。</p> 
<p>⑮「おもしろ理科体験」</p> <p>【株式会社ケニス・運営協力教員】</p> <p>電気自動車、紙ぶえ、空気鉄砲の実験などをとおして、理科の楽しさや不思議さを実感しました。</p> 	

5 参加スタッフ

運営協力教員（ボランティア）	26名		
戸田市理科教育研究部会	11名		
戸田市理科支援員	10名	合計	47名

6 成果と課題

【成果】

- ・戸田市教育委員会が進めている「産官学民との連携」をさらに進め、新規ブースを3講座開設した。また、継続して出展していただいたブースも新たなテーマで取り組んでいただくなど、マンネリ化せず行うことができた。
- ・出展講座の講師からは、「子供たちが積極的に参加し、楽しんでいる姿を見て来年もぜひ参加したい。」との声が多く聞かれた。
- ・子供たちからは、「とても楽しかった。人が多くて一部の講座しか体験できなかったので、来年も参加して、違う講座をやってみたい。」など、とても楽しんで参加している様子が見えかけた。
- ・アリーナでの実施を中止し、エアコンがかかる2階で全講座を行った。心配された熱中症で体調を崩す人もいなかった。

【課題】

- ・新規講座が増えてくる一方、講座数の上限もある。参加人数が定員に達しない講座を中心に、講座の精選を図っていきたい。
- ・中学校の全生徒にも案内を配布しているが、例年、中学生の参加数が少ない状況なので、中学生への意識調査と中学生向けの講座について検討していきたい。
- ・熱中症対策として、アリーナでの実施を見送った。来年度も同じ対応になることを想定した会場設営を考えていく必要がある。

報告事項③

戸教政第1283号
平成30年8月10日

戸田市立各小・中学校長 様

戸田市教育委員会
教育長 戸ヶ崎 勤

活動中の事故に係る教員の法的責任について（通知）

現在、本市の部活動方針や熱中症予防方針により、部活動の活動時間等について一定の制限がある状況です。このような中、教員が自主的に部員を集め、外部施設等において学校教育活動ではない形での活動を行おうとすることが考えられますが、このような活動中に事故があった場合の教員の法的責任について、別紙のとおりまとめましたので共有します。学校教育活動以外の活動における事故は、指導監督を実質的に行った教員個人に学校教育活動における場合よりも重い責任が課せられる可能性がありますので、このことをよく教員に周知するよう願います。

なお、言うまでもなく、職務上、児童生徒の安全や健康を確保する責務を負う教員の立場からは、児童生徒の肉体的・精神的な過度な負荷や事故の防止といった各方針の趣旨を十分に踏まえて行動すべきであることから、各学校においては、個々の教員がその自覚を持ち、公私ともに責任ある行動をとるよう併せて指導願います。

担当：教育政策室（指導担当）
増田（内線379）

「社会教育活動」における事故に係る教員の法的責任について

【事例】 教員 A は、夏休み中、市教育委員会が出した熱中症予防方針において屋外活動が禁止されている日に、「部活動ではない自主的な活動」と称し、部員を任意で集めて外部の施設において部活動と同様の活動を行った。その活動中、生徒が熱中症で倒れ死亡した。教員はどのような責任を負うのか。

→学校教育活動である部活動には当たらない本活動は「社会教育活動」に該当し、**部活動中の事故とは異なる責任が問われる可能性**があります。

1. 民事上の責任

事故に係る医療費、逸失利益（当該生徒が生涯稼ぐはずだったお金）、慰謝料等の損害賠償責任が発生します。 【過去の判決による想定額】 一人7,000万円以上

○部活動中の事故の場合

→**教育委員会が賠償責任を負います。**
(国家賠償法第1条)

→教員に「重過失」（単なる不注意ではなく、著しく注意が欠けていた状態）があった時のみ、教育委員会は教員に対して一定額を請求できます。

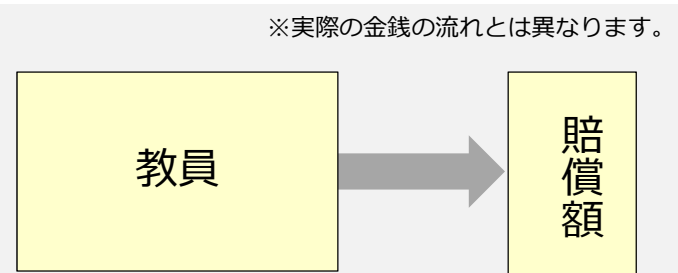
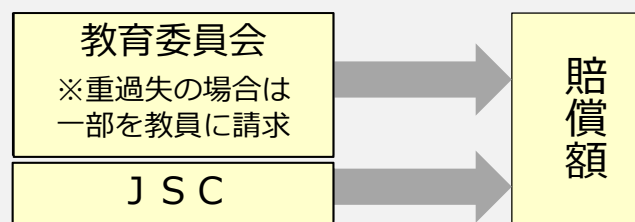
※（独）日本スポーツ振興センター（JSC）から一定額の給付金が支給されます。

○社会教育活動中の事故の場合

→**教員個人が賠償責任を負います。**
(民法第709条)

※（独）日本スポーツ振興センター（JSC）の補償対象となりません。

〈負担のイメージ〉



※活動前に教員が「事故が起きても責任は負わない」旨を生徒や保護者に伝達したとしても、それをもって免責されることはないと考えられます。

2. 刑法上の責任

部活動中の事故であれば業務上過失致死傷罪、社会教育活動中の事故であれば過失致死傷罪が科される可能性があります。（刑法第209～211条）

※過去に部活動中の熱中症の死亡事故において、顧問が業務上過失致死罪となった事案があります。

3. 行政上の責任

職務命令違反や信用失墜行為等により懲戒処分の対象となり得ます。（地方公務員法第29条第1項、第32条等）

学校教育活動と社会教育活動における事故に係る教員の法的責任について

平成 30 年 8 月
戸田市教育委員会

中学校学習指導要領（平成 20 年 3 月 28 日文部科学大臣告示）の総則において、部活動は学校教育の一環である旨の位置付けが示されており、部活動は学校教育活動にあたる。一方、部活動方針や熱中症予防方針による部活動の活動制限の対象外とするために、部活動顧問である教員が社会教育活動として部活動と同様の活動を行うことが考えられるが、活動中に事故が起きて生徒が死傷した場合の教員の責任については学校教育活動と社会教育活動との間に違いがあるため、教員はあらかじめこのことをよく踏まえておく必要がある。

【教員が監督する活動中の事故に係る責任】

	学校教育活動	社会教育活動
①民事上の責任	<p>事故について教員に過失がある場合、学校の管理者たる教育委員会が賠償責任を負う。教員に重過失がある場合に限り、教育委員会は教員に対して求償できる。（国家賠償法第 1 条）</p> <p>※（独）日本スポーツ振興センターの災害補償給付の対象となり、傷害や死亡の場合において一定の給付金が支給される。その分については教育委員会は賠償責任を免れる。</p>	<p>事故について教員に過失がある場合、教員自身が賠償責任を負う（民法第 709 条）。</p> <p>※（独）日本スポーツ振興センターの災害補償給付の対象とならないため、教員が全体の責任を負う。</p>
②刑事上の責任	<p>業務上過失致死傷罪に問われうる（刑法第 211 条）。</p>	<p>過失致死傷罪に問われうる（刑法第 209 条第 1 項、第 210 条）。</p>
③行政上の責任	<p>職務命令に違反して事故を起こした場合などにおいて懲戒処分の対象となりうる（地方公務員法第 29 条第 1 項、第 32 条）</p>	<p>社会の信用を失うような態様での活動により事故を起こした場合において懲戒処分の対象となりうる。（地方公務員法第 29 条第 1 項、第 33 条）</p>

※表の説明では、教員が「故意」により生徒を死傷されることは想定しがたいことからこれを除いている。

【解説】

①「民事上の責任」について

一般に、故意または過失によって他人に損害を与えた者は不法行為による損害賠償責任を負う（民法第709条）。このため、例えば社会教育活動において、生徒が参加するスポーツの指導監督を行う立場にある者が不注意で事故を起こして生徒を死傷させた場合などには、安全配慮義務違反として治療費や逸失利益（当該生徒の今後の人生における収入）、慰謝料等の損害賠償責任を負う。

一方、事故が学校教育活動の中で起きた場合には、民法の特別法である国家賠償法が適用され、一義的には学校の管理者たる教育委員会がその責任を負うことになる。また、教育委員会は、事故が教員の故意または重過失による場合に限り当該教員に一定額につき求償できる。このように、教員が部活動などの学校教育活動において被害生徒に対して負う責任については、教員に重過失があった場合のみ一定の範囲で負うこととされており、社会教育活動などにおける一般的な不法行為による責任よりも限定的である。

これは、教員は、事故が起きないように生徒に適切な安全指導を行い、その活動を十分に監督して安全性に配慮しなければいけないのは当然である一方で、事故の発生や責任問題を恐れるあまり教育活動が過度に委縮することを避ける効果がある。また、被害生徒やその保護者にとっては、学校教育活動における事故について教育委員会が賠償責任を負うことにより、より確実な支払いを期待できる。

なお、学校教育活動における事故の場合には、独立行政法人日本スポーツ振興センターから災害補償給付金が支給されることになっており、その分は教育委員会が負う損害賠償責任が免除される。社会教育活動の場合には給付対象とならないため、生徒が特段の保険に入っていない限り教員の賠償責任が減額することはない。

また、教員がたとえ活動前に生徒や保護者に対して「本活動において事故が起きても一切の責任は負わない」旨の連絡を一方的に行っていたとしても、教員に生徒の安全を確保すべき注意義務があることを踏まえれば、この連絡をもって事故があった場合の責任を逃れることはできないと考えられる。

【参考事例】

○平成25年3月21日大分地裁判決

高校の剣道部の顧問及び副顧問が、部活動の練習中に生徒が熱中症を発症したにも関わらず、直ちに練習を中止し、医療施設に搬送する等の処置を取らなかったこと等により生徒が死亡した事案において、賠償責任を負う県及び市に対し、両親への合計約4700万円の支払いを命じた。なお、(独)日本スポーツ振興センターからは別途2800万円の給付があり、この分は賠償額から除かれている。

○平成17年9月16日佐賀地裁判決

高校のラグビー部の顧問が、部活動の練習中に生徒が熱中症を発症し翌日死亡した事案に

において、部活動の指導者は部活動中に部員の健康状態を常に監視し、健康状態に異状が生じないよう状況に応じて休憩をとり、あるいは無理のないよう練習計画を変更すべきであり、さらに部員に異状を認めたときには、速やかな応急処置をとり、場合によっては医療機関に搬送すべき注意義務に違反したとして、県に対し、両親への合計約 5500 万円の支払いを命じた。なお、日本体育・学校健康センター（(独) 日本スポーツ振興センターの前身）からは別途 1250 万円の給付があり、この分は賠償額から除かれている。

② 「刑事上の責任」について

教員が生徒の安全に関する適切な注意義務を怠った結果として生徒を死傷させた場合、教員による事故の予見可能性や教員の注意義務違反と結果との因果関係等が認められれば、部活動（学校教育活動）中の事故の場合は業務上過失致死罪、社会教育活動中の事故の場合には過失致死傷罪が科される可能性がある（刑法第 209 条～第 211 条）。

【参考事例】

○平成 14 年 9 月 30 日横浜地裁判決

中学校の部活動に際して、野球部顧問が真夏の炎天下で部活動を行うに当たり熱中症の発生を予防するとともに、部員に熱中症が生じた場合に迅速かつ適切な措置をとれるような体制で指導監督し、部員の健康保持に留意すべき注意義務があるのにこれを怠った結果、部員を熱中症により死亡させた事案において、業務上過失致死罪による罰金 40 万円の支払いを命じた。

③ 「行政上の責任」について

学校教育活動において教員が職務命令や職務上の義務に違反した場合には、そのことのみをもって懲戒処分の対象となり得るが（地方公務員法第 29 条第 1 項、第 32 条）、これに起因して事故が起きた場合にはさらに重い責任を問われる可能性がある。

また、社会教育活動であっても、全体の奉仕者である公務員としての立場から一般の国民以上に高度な行動規範が求められる教員として、社会の信用を失墜させるような行為があれば、行政上の処分がなされる可能性がある（同法第 29 条第 1 項、第 33 条）。

なお、生徒の安全性を確保するための熱中症予防方針に反して教員が部活動に類する活動を行い、その活動中に熱中症事故が起こって生徒が死傷した場合、教員は猛暑日に活動する危険性を十分認識した上で活動を行ったのであるから、重過失が認定され、民事上、刑事上、行政上の責任がより重く捉えられる可能性が高いと考えられる。

【参照条文】

○民法（明治二十九年法律第八十九号）

（不法行為による損害賠償）

第七百九条 故意又は過失によって他人の権利又は法律上保護される利益を侵害した者は、これによって生じた損害を賠償する責任を負う。

○刑法（明治四十年法律第四十五号）

（過失傷害）

第二百九条 過失により人を傷害した者は、三十万円以下の罰金又は科料に処する。

2 前項の罪は、告訴がなければ公訴を提起することができない。

（過失致死）

第二百十条 過失により人を死亡させた者は、五十万円以下の罰金に処する。

（業務上過失致死傷等）

第二百十一条 業務上必要な注意を怠り、よって人を死傷させた者は、五年以下の懲役若しくは禁錮又は百万円以下の罰金に処する。重大な過失により人を死傷させた者も、同様とする。

○国家賠償法（昭和二十二年法律第二百二十五号）

第一条 国又は公共団体の公権力の行使に当る公務員が、その職務を行うについて、故意又は過失によつて違法に他人に損害を加えたときは、国又は公共団体が、これを賠償する責に任ずる。

② 前項の場合において、公務員に故意又は重大な過失があつたときは、国又は公共団体は、その公務員に対して求償権を有する。

○地方公務員法（昭和二十五年法律第二百六十一号）

（懲戒）

第二十九条 職員が次の各号の一に該当する場合には、これに対し懲戒処分として戒告、減給、停職又は免職の処分をすることができる。

一 この法律若しくは第五十七条に規定する特例を定めた法律又はこれに基く条例、地方公共団体の規則若しくは地方公共団体の機関の定める規程に違反した場合

二 職務上の義務に違反し、又は職務を怠つた場合

三 全体の奉仕者たるにふさわしくない非行のあつた場合

2～4 （略）

（法令等及び上司の職務上の命令に従う義務）

第三十二条 職員は、その職務を遂行するに当つて、法令、条例、地方公共団体の規則及び地方公共団体の機関の定める規程に従い、且つ、上司の職務上の命令に忠実に従わなければならない。

（信用失墜行為の禁止）

第三十三条 職員は、その職の信用を傷つけ、又は職員の職全体の不名誉となるような行為をしてはならない。

平成30年度第2回戸田市立戸田第一小学校建て替え準備委員会

日 時 平成30年8月23日(木) 午後7時～
場 所 戸田市立教育センター 2階会議室

次 第

1 開 会

2 議 事

- (1) 屋外運動場代替地について
- (2) 建て替え後の校舎等配置案について
- (3) 今後のスケジュールについて
- (4) その他

3 閉 会

屋外運動場の代替地について

1 候補地(別紙参照)

(1) 新東洋ロール株式会社 工場跡地

所在地 戸田市上戸田2丁目37番16号

(2) 上戸田保育園 跡地

所在地 戸田市上戸田2丁目18番5号

2 新東洋ロール株式会社 工場跡地

(1) 経過

新東洋ロール株式会社に代替地として借地したい旨打診したところ、地域貢献の一環として協力したいと内諾いただいた。

(2) 借地期間(予定) 平成31年度～平成35年度

(3) 整備内容について

今後、ワーキンググループで検討を進めていく。

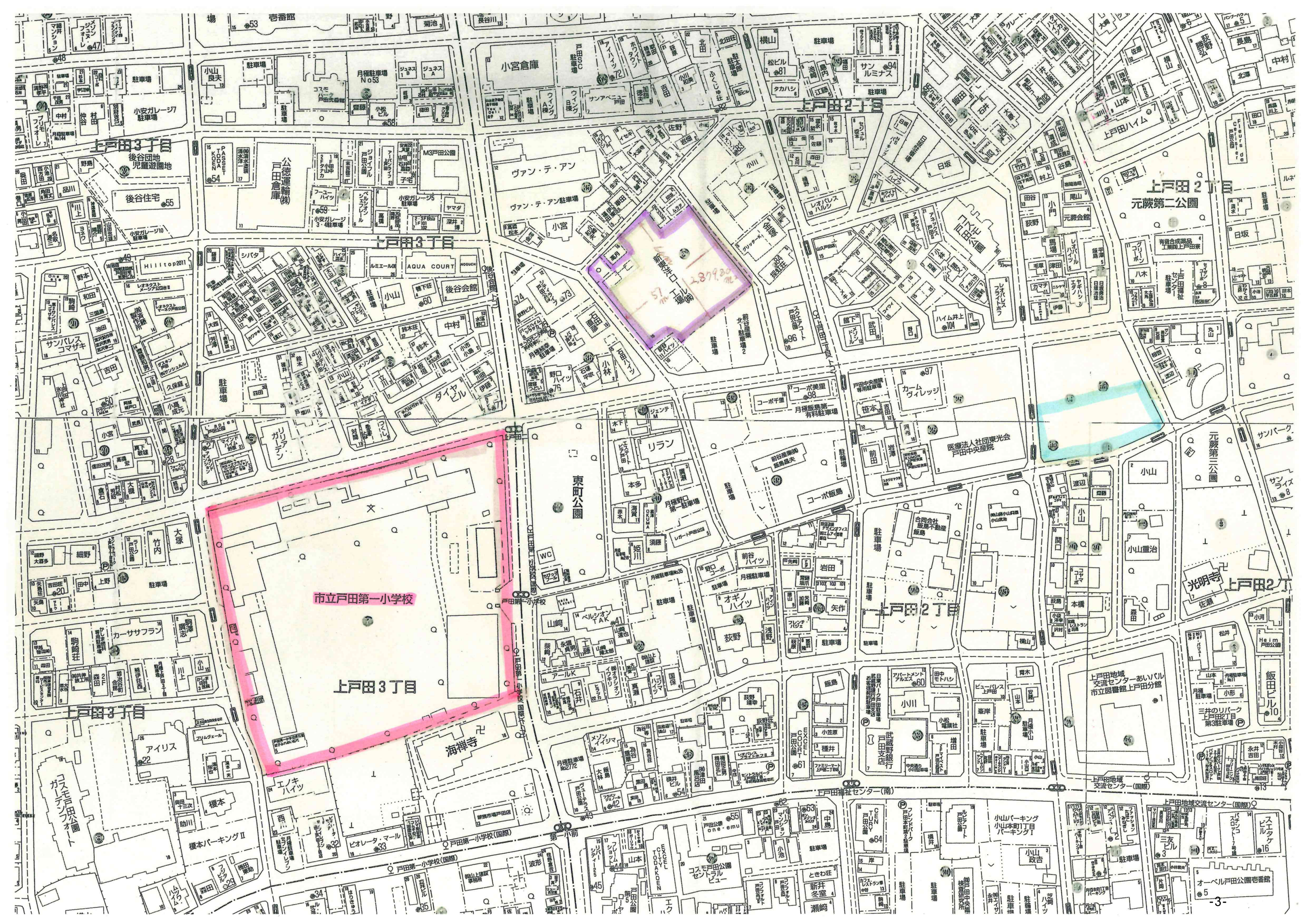
現在は砂利敷きとなっているため、グラウンド整備が必要である。その他、防球ネット、トイレ、倉庫、洗い場等が必要設備として考えられる。

(4) 今後の検討事項

- ・周辺住民への説明
- ・児童移動時の交通安全対策
- ・カリキュラム等の検討

(5) その他

平成30年10月から建て替え工事が始まる戸田東中学校の部活動でも活用できるよう検討中である。



市立戸田第一小学校

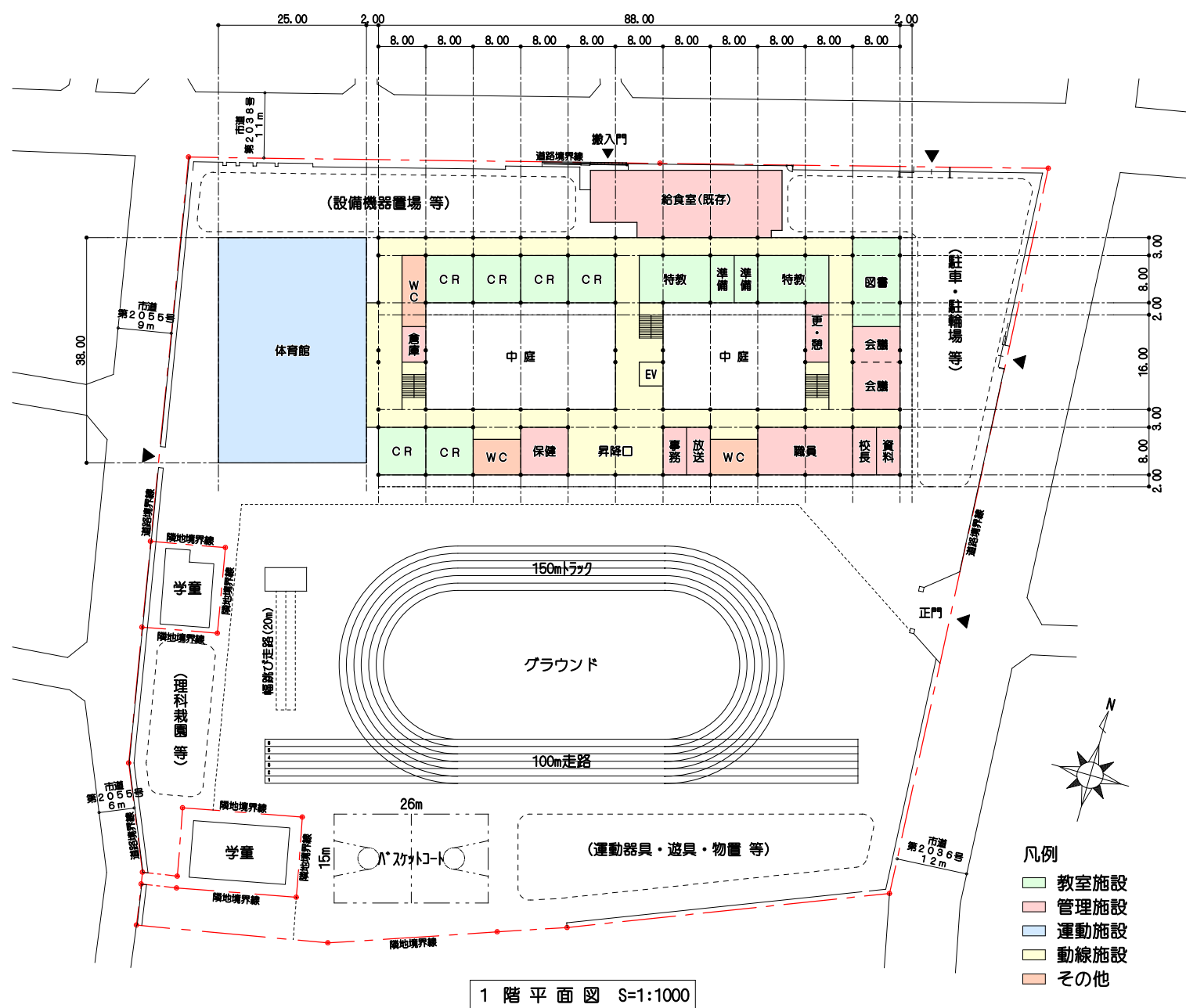
上戸田3丁目

東町公園

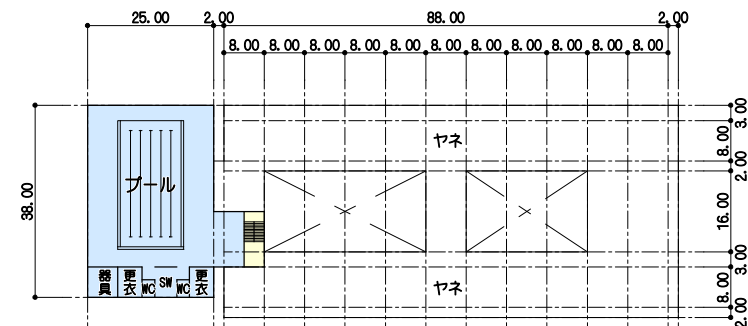
上戸田2丁目
元蔵第二公園

光明寺 上戸田2丁目

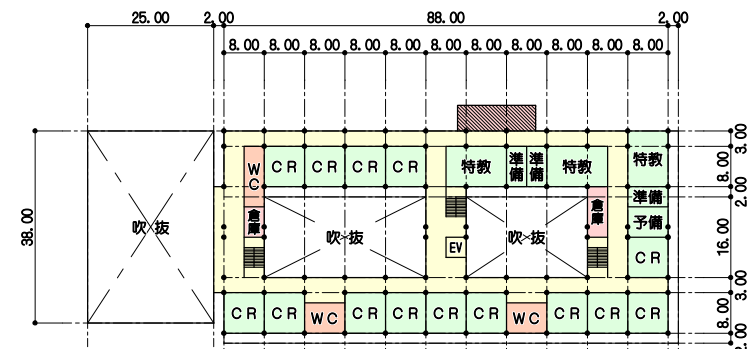
上戸田地域
交流センターあいはら
市立図書館上戸田分館



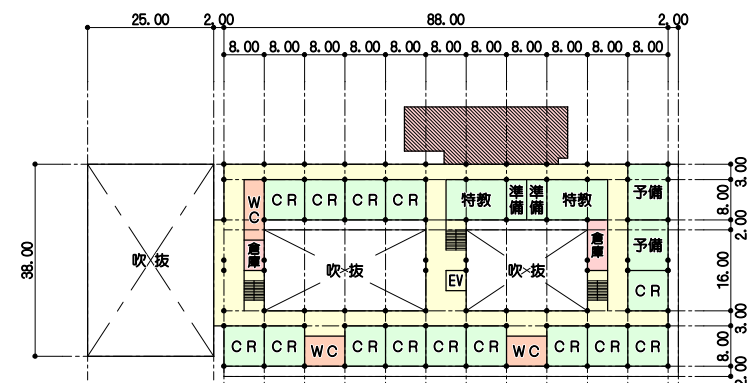
1階平面図 S=1:1000



R階平面図 S=1:1500



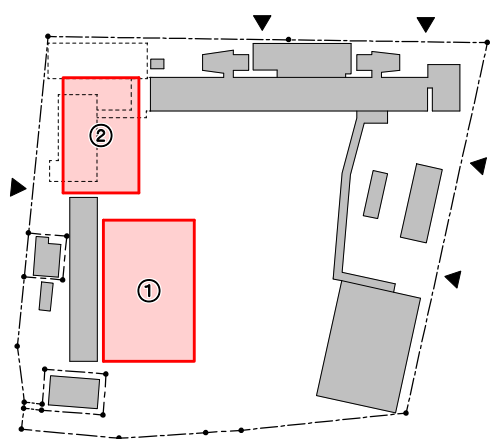
3階平面図 S=1:1500



2階平面図 S=1:1500

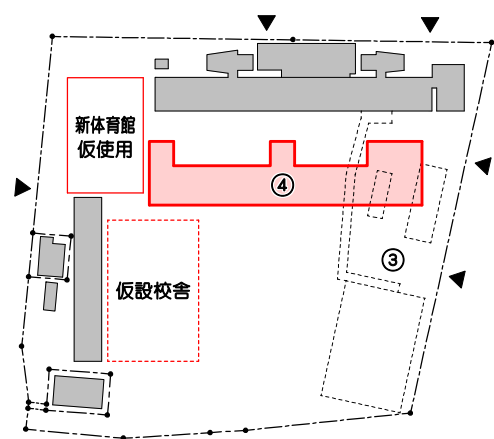
Phase 1

- ① 仮設校舎(北・西校舎分)設置
- ② 北・西校舎解体、新体育館棟建設



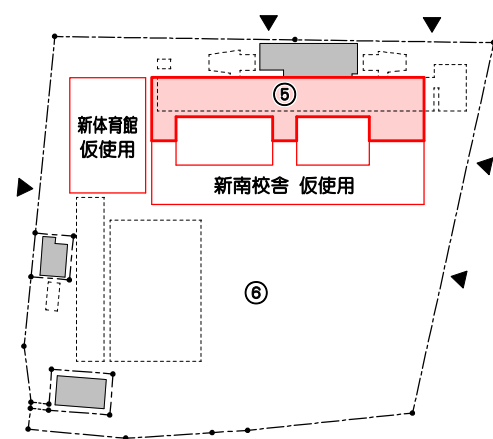
Phase 2

- ③ 体育館・プール・渡り廊下等 解体
- ④ 新南校舎建設



Phase 3 (給食室一時利用停止)

- ⑤ 管理教室棟 解体、新北校舎建設
- ⑥ 仮設校舎・プレハブ校舎 撤去、グラウンド整備



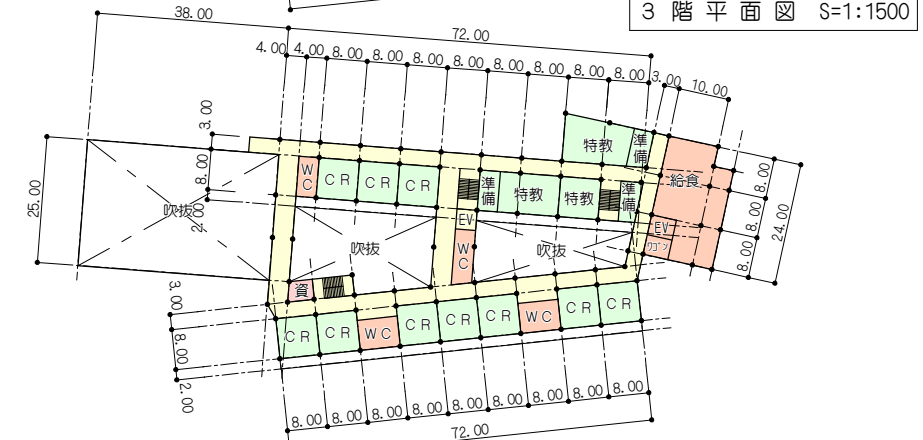
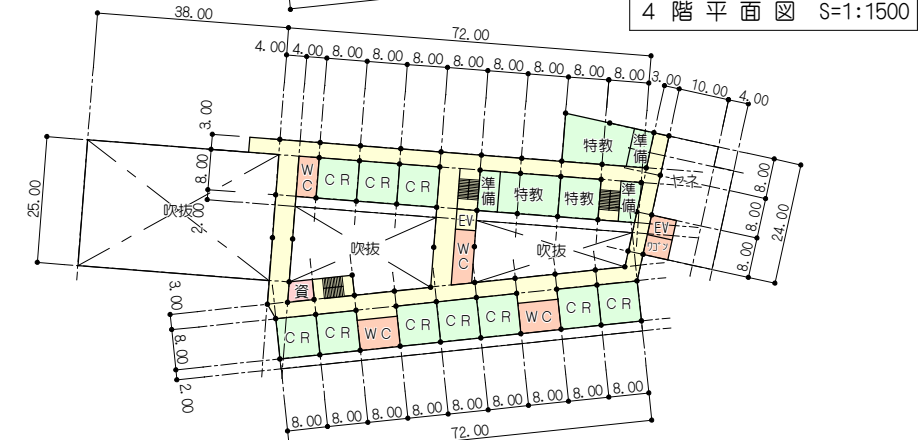
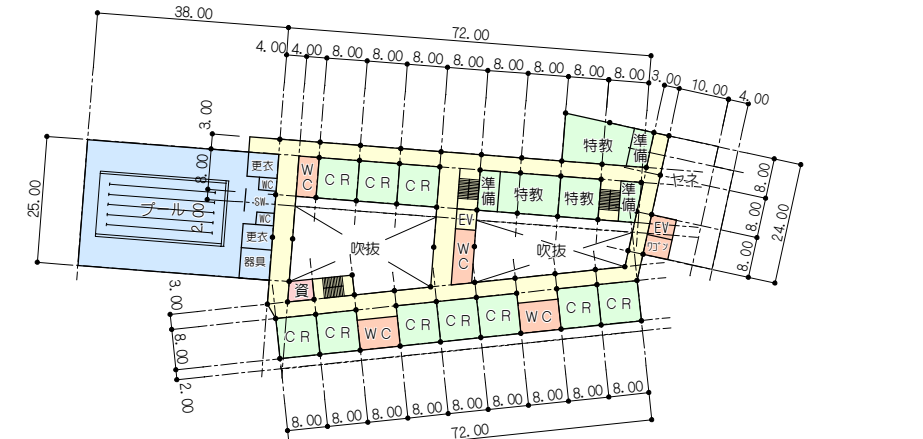
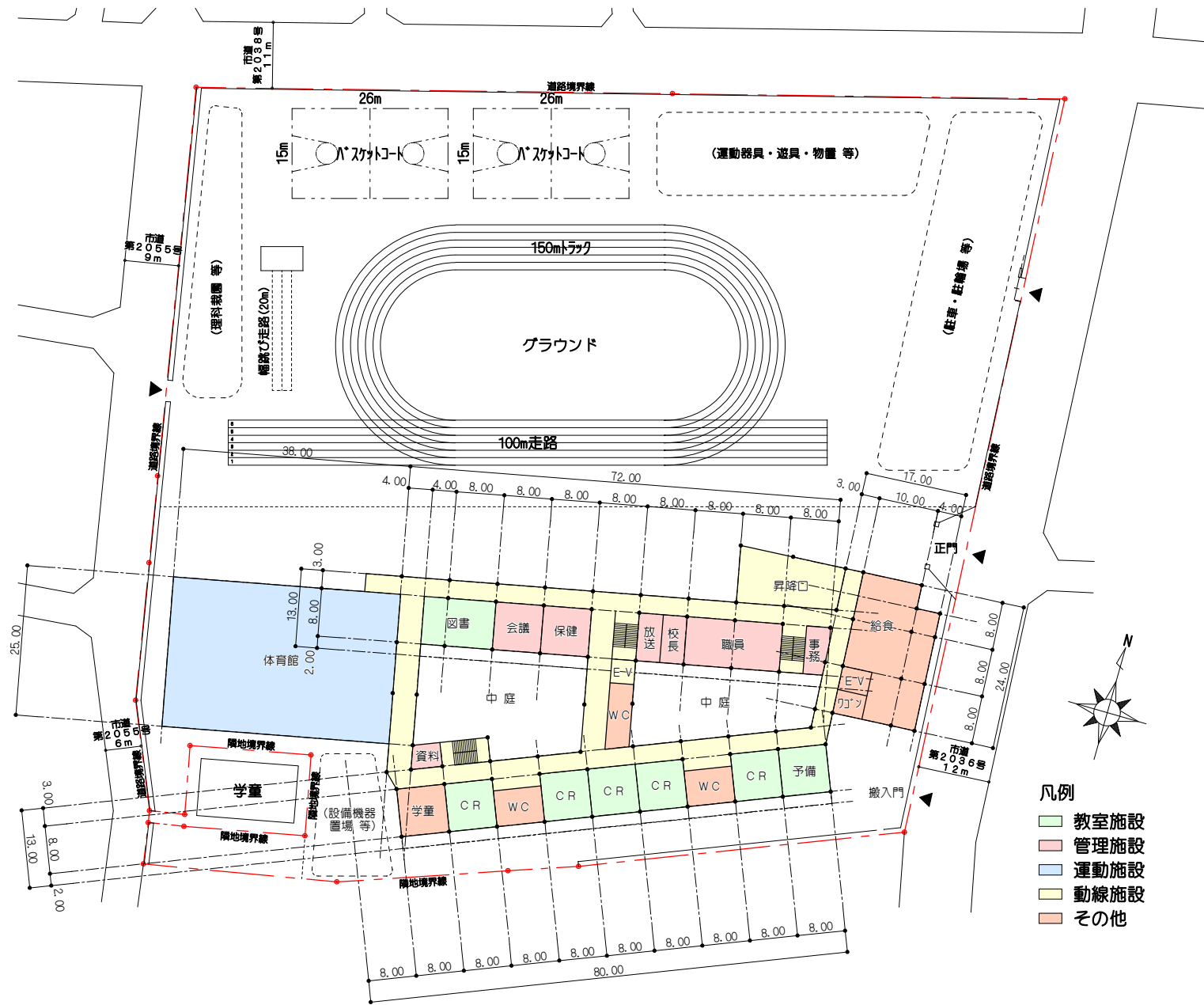
■ 概算面積表

校舎棟	7,662.00 m ²	建築面積	3,977 m ²	<23%
体育館棟	1,100.00 m ²	延べ面積	9,491.71 m ²	<55%
給食室(既存)	729.71 m ²	校庭面積	約 7,700 m ²	

敷地面積 17,162m²(5,191坪)

■ 配置案評価

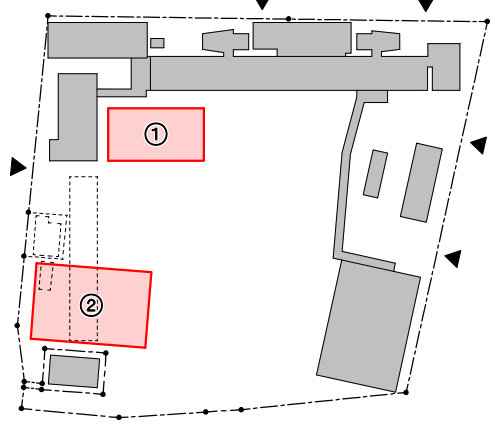
校舎規模	△	口の字型配置のため、延床面積が大きくなりやすい
教室環境	○	普通教室及び特別教室の南面採光が可能
校庭面積	○	北側に施設をまとめた配置のため、比較的適正な面積が確保できる
校庭環境	○	南面配置で遮蔽物がなく、日当たりが良い
近隣環境	△	日影の影響は緩和されるが、校庭が吹抜け状になる為、砂塵対策が必要
コスト・工事期間	△	仮設校舎の整備、施設の段階的な建設・仮使用が必要
工事中の学校環境	△	新校舎建設時に既存校舎と近接するため、騒音等の影響がある
工事中の施設利用	○	段階的な移転・仮使用により、利用不可となる施設が少ない
既存建物の利用	○	給食室、学童保育室ともに既存利用が可能



- 凡例
- 教室施設
 - 管理施設
 - 運動施設
 - 動線施設
 - その他

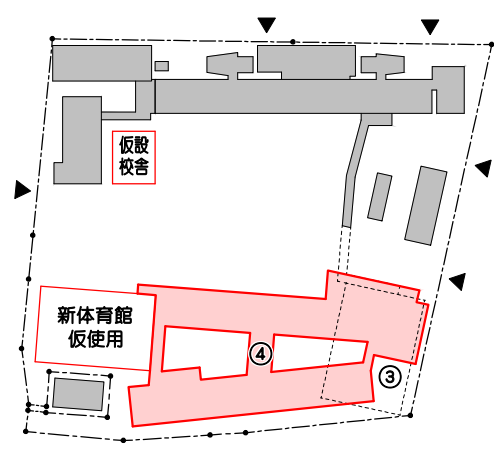
Phase 1

- ① 仮設校舎(既存仮設、クワハウス、学童)設置
- ② 既存仮設校舎、クワハウス、北側学童解体
新体育館棟 建設



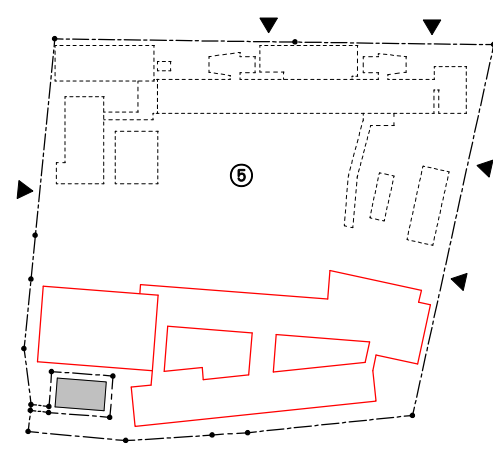
Phase 2

- ③ 体育館・一部渡り廊下等 解体
- ④ 新校舎 建設



Phase 3

- ⑤ 既存校舎、仮設校舎 解体
グラウンド整備

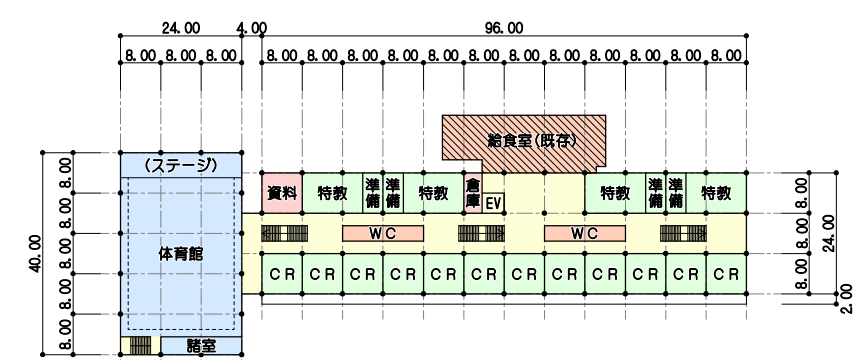
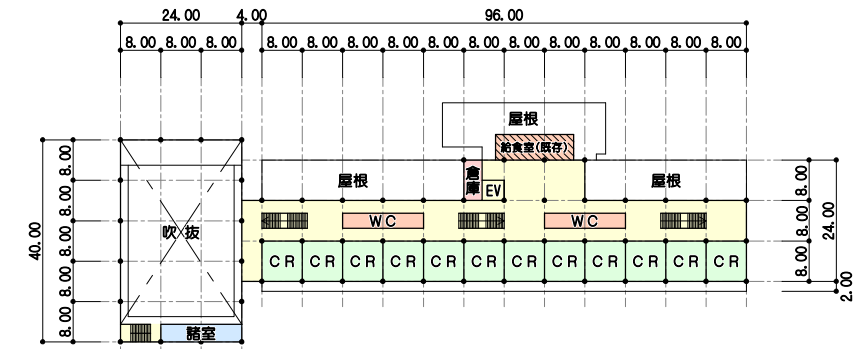
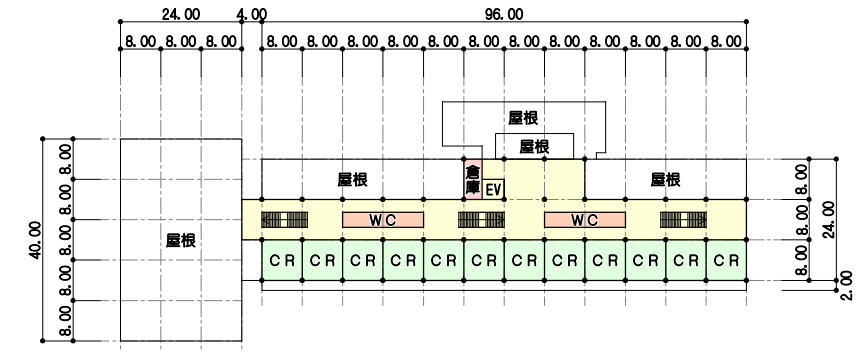
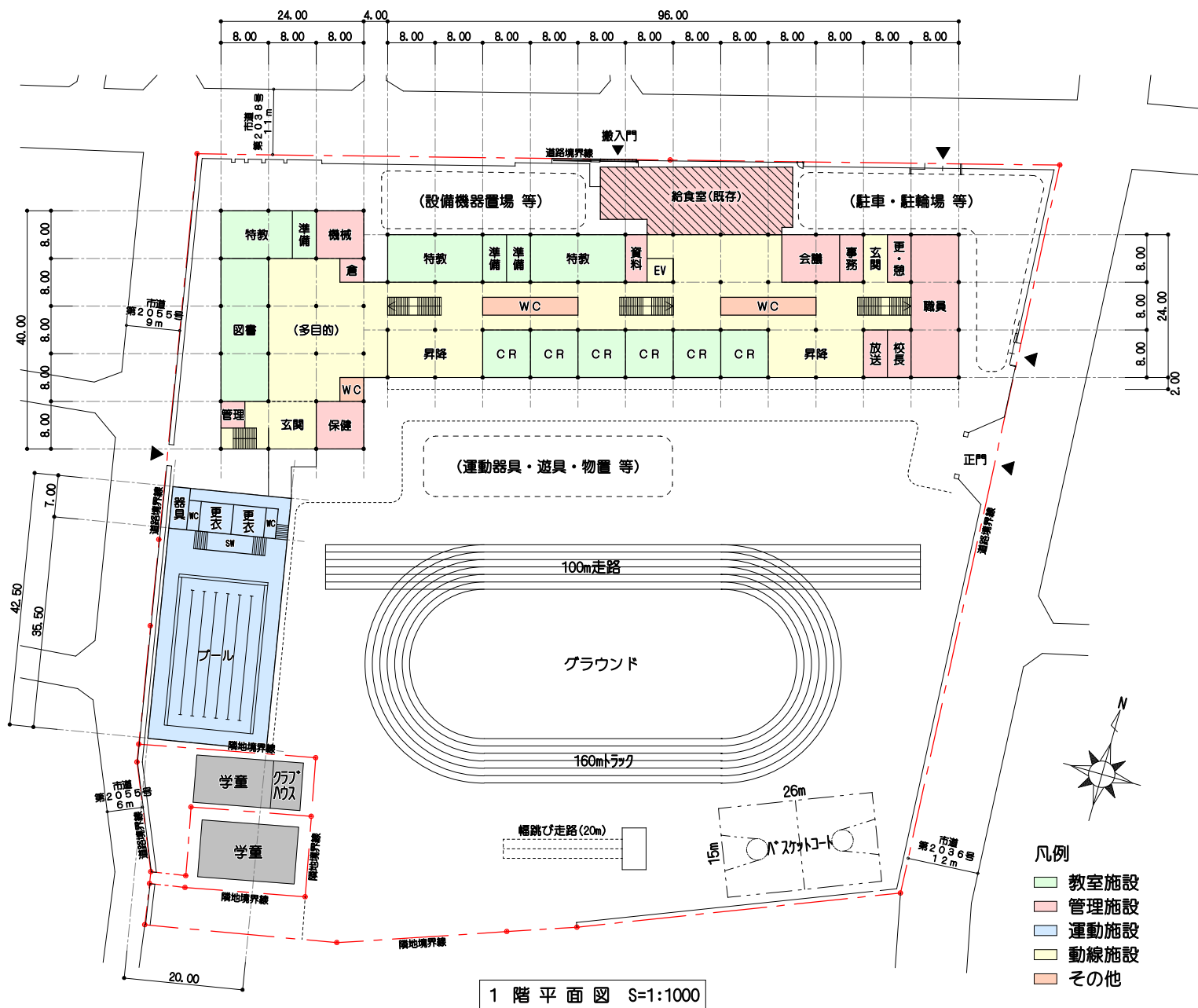


■ 概算面積表

校舎棟	8,351.56 m ²	建築面積	3,620.11 m ²	<21%
体育館棟	1,100.00 m ²	延べ面積	10,171.56 m ²	<59%
給食室(新築)	720.00 m ²	校庭面積	約 7,500 m ²	
敷地面積 17,162m ² (5,191坪)				

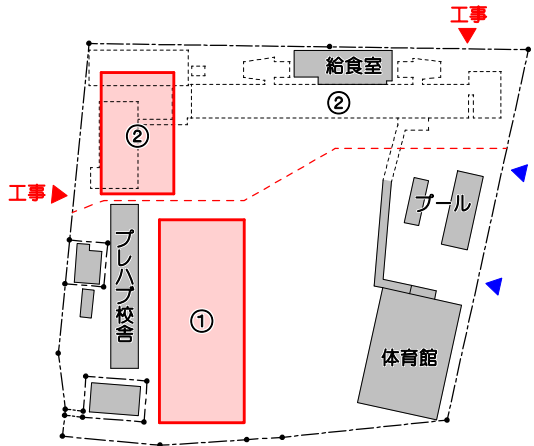
■ 配置案評価

校舎規模	△	口の字型配置のため、延床面積が大きくなりやすい
教室環境	○	普通教室及び特別教室の南面採光が可能
校庭面積	○	南側に施設をまとめた配置のため、比較的適正な面積が確保できる
校庭環境	△	北側配置の為、校舎の日影がおちる
近隣環境	○	校庭の南側に校舎が位置するため、日影の影響が少ない
コスト・工事期間	○	仮設校舎の縮小、工期の短縮が図れる
工事中の学校環境	○	新校舎建設時に既存校舎と離れるため、騒音等の影響が少ない
工事中の施設利用	○	移転の回数が少なく、体育館のみ仮使用の必要あり
既存建物の利用	△	北側学童保育の移転が必要。給食室既存利用無し



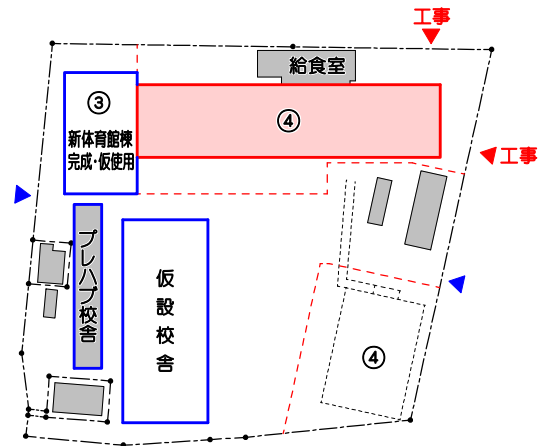
Phase 1 (給食室利用停止)

- ① 仮設校舎 設置(既存全校舎分)、移転
- ② 校舎解体、新体育館棟 建設



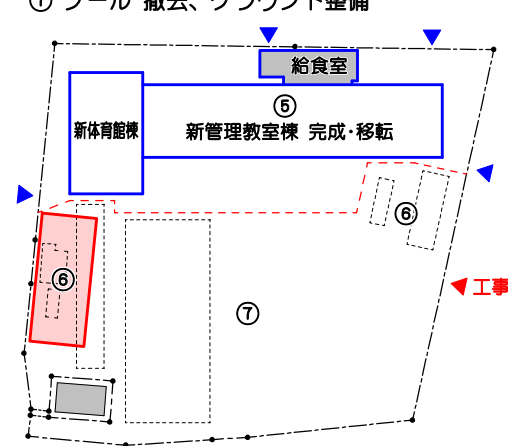
Phase 2 (給食室利用停止)

- ③ 新体育館棟 完成・仮使用
- ④ 体育館等 解体、新管理教室棟 建設



Phase 3

- ⑤ 新管理教室棟 完成、移転
- ⑥ 仮設校舎・プレハブ校舎・学童 撤去、新プール 建設
- ⑦ プール 撤去、グラウンド整備



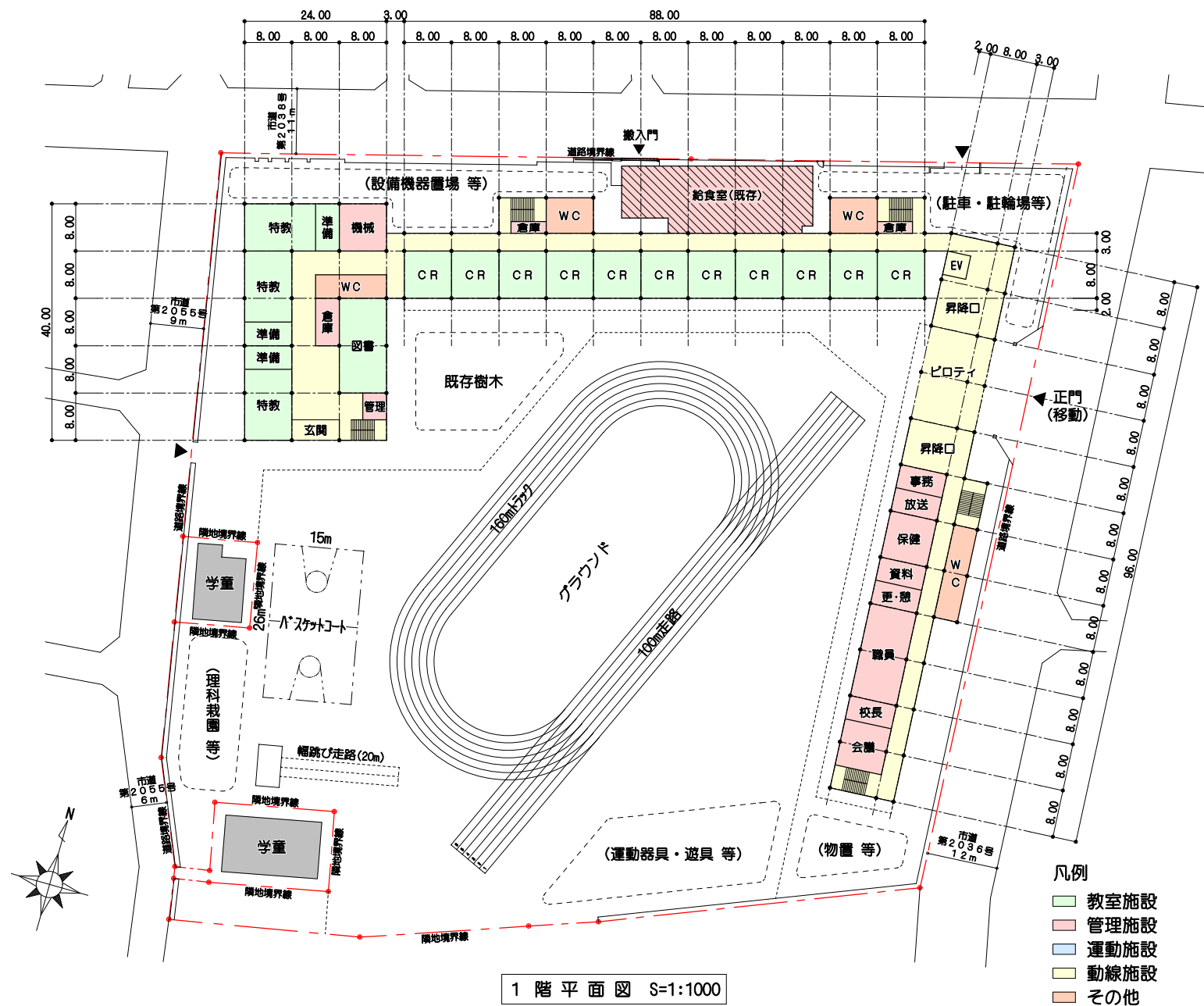
■ 概算面積表

管理教室棟	8,288.00 m ²	建築面積	3,984.64 m ² <23%	普通教室数	40 (予備含む)
体育館棟	2,004.00 m ²	延べ面積	11,237.71 m ² <65%	特別教室数	7 (+図書室:1)
プール棟	216.00 m ²	校庭面積	約 8,800 m ²		
給食室(既存)	729.71 m ²				

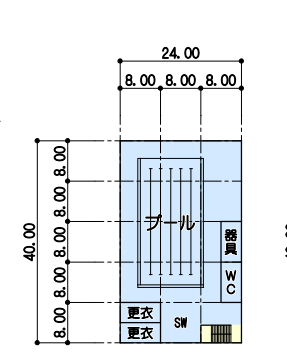
敷地面積 17,162m² (5,191坪)

■ 配置案評価

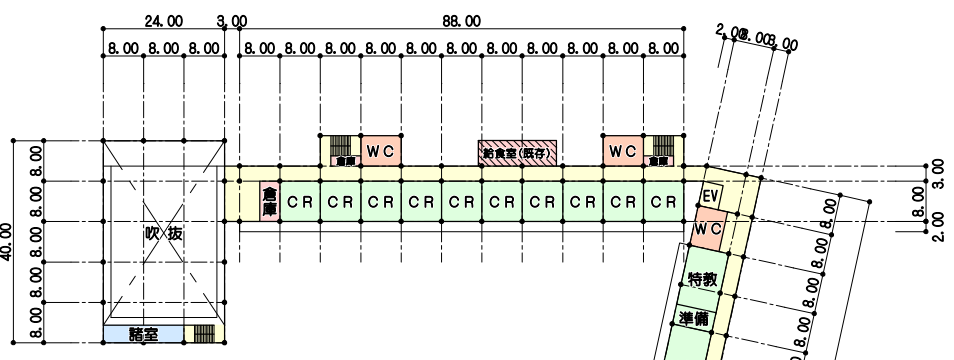
校舎規模	○	中廊下型のため、建築面積がコンパクトに納まるが4階建てになる
教室環境	○	普通教室を南面採光主体に配置可能
校庭面積	○	北側に施設をまとめ、中庭がない分、より広い面積が確保できる
校庭環境	○	南面配置で遮蔽物がなく、日照条件が良好
近隣環境	△	建物が既存校舎より高くなる分、日影の影響が出る
コスト・工事期間	△	仮設校舎の整備、既存校舎からの移転が必要
工事中の学校環境	△	新校舎建設時に仮設校舎と一部近接するため、騒音等の影響がある
工事中の施設利用	○	仮設校舎の設置、体育館棟の仮使用により、利用不可となる施設が少ない
既存建物の利用	△	給食室は既存利用が可能。北側学童の撤去が必要



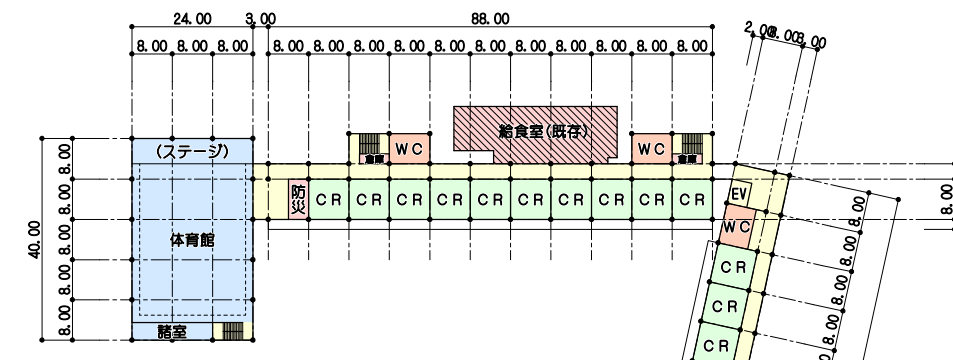
1階平面図 S=1:1000



R階平面図 S=1:1500



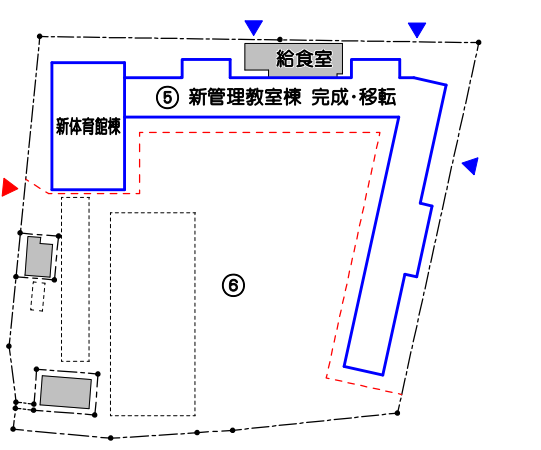
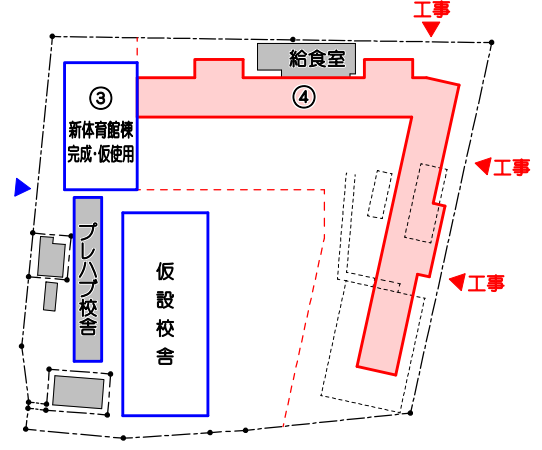
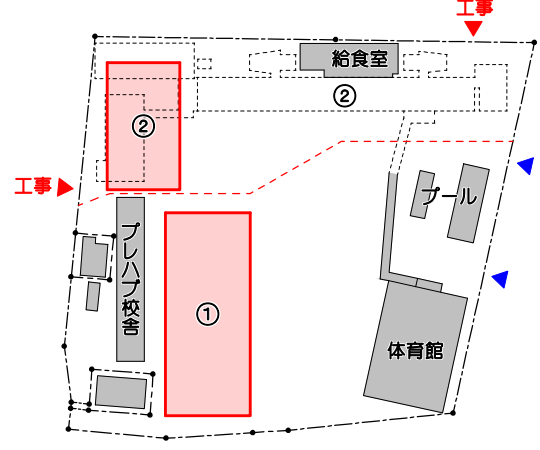
3階平面図 S=1:1500



2階平面図 S=1:1500

- 凡例
- 教室施設
 - 管理施設
 - 運動施設
 - 動線施設
 - その他

- Phase 1 (給食室利用停止)
- ① 仮設校舎 設置(既存全校舎分)、移転
 - ② 校舎解体、新体育館棟 建設
- Phase 2 (給食室利用停止)
- ③ 新体育館棟 完成・仮使用
 - ④ 体育館・プール等 解体、新管理教室棟 建設
- Phase 3
- ⑤ 新管理教室棟 完成、移転
 - ⑥ 仮設校舎・プレハブ校舎 撤去、グラウンド整備



■ 概算面積表

管理教室棟	7,072.95 m ²	建築面積	3,842.30 m ² <22%>	普通教室数	40 (予備含む)
体育館棟	2,260.00 m ²	延べ面積	10,062.66 m ² <58%>	特別教室数	7 (+図書室:1)
給食室(既存)	729.71 m ²	校庭面積	約 8,300 m ²		

敷地面積 17,162m² (5,191坪)

■ 配置案評価

校舎規模	△	L型配置のため、動線が長くなりやすい
教室環境	○	普通教室を南面採光主体に配置可能
校庭面積	△	面積は比較的適正に確保できるが、不整形となり多目的な利用が難しい
校庭環境	○	南面配置で遮蔽物がなく、日照条件が良好
近隣環境	○	日影の影響は既存同等、校庭を囲む配置のため、砂塵対策として有効
コスト・工事期間	△	仮設校舎の整備、既存校舎からの移転が必要
工事中の学校環境	△	新校舎建設時に仮設校舎と一部近接するため、騒音等の影響がある
工事中の施設利用	△	新校舎建設時の工事範囲が広く、東側からの出入りが困難となる
既存建物の利用	○	給食室、学童保育室ともに既存利用が可能

資料3

戸田第一小学校建て替えスケジュール 平成30年8月23日版

平成30年度第2回
戸田第一小学校建て替え準備委員会
平成30年8月23日(木)

時 期	準備委員会	ワーキンググループ(WG)	基本計画策定業務	備考	
H30年	4月	①4/26 ・準備委員会について ・スケジュールについて			
	5月		全WG(顔合わせ、スケジュール確認) 全WG(必須条件及び課題整理、配置(案)検討)		
	6月		学校建設WG開催 学校運営WG開催	契約 配置(案)作成	
	7月		学校運営WG、学校建設WG、カリキュラムWG開催	配置(案)修正 ↓	
	8月	②8/23 配置(案)に対する意見交換(全体ボリューム、必要な機能、配置、課題抽出)	各WG随時開催	(お盆休み) 配置(案)修正	
	9月				
	10月	③10/11 (予定) 配置(案)決定		基本計画原案作成 ↓	平成31年度予算要求
	11月	委員会④ 基本計画原案の検討		基本計画原案修正 ↓	
12月	委員会⑤ 基本計画(案)決定 事業概要説明		基本計画(案)微修正 ↓		
H31年	1月	委員会⑥ 基本計画確定			
	2月			成果物提出	
	3月				

時 期	準備委員会	ワーキンググループ	各種事業	予 算	工 事
H31年度	随時開催	随時開催	基本設計業務(委託)		
H32年度			実施設計業務(委託)	改築工事当初予算要求	
H33年度					改築工事着工
H34年度					
H35年度以降	新校舎等の利用開始				

- 平成30年度の主な検討事項(準備委員会)
- 配置(案)の決定(平成30年10月まで)
 - 新校舎の設計条件、建て替えに係る課題等について意見交換
 - プレハブ校舎の設置、運動場確保策等、重要課題に対する方向性の決定
 - 新校舎等の配置について
 - 基本計画の決定
 - 配置(案)の詳細検討
 - 工事スケジュールや事業費概算等の検討

※スケジュールは、工事内容や準備委員会等における検討状況により、変更となることがあります。
特に、新校舎等の利用開始時期は、新校舎の配置や工程により遅れる可能性があります。